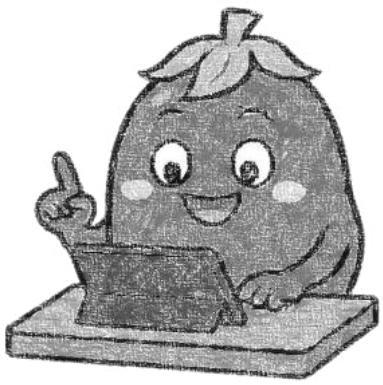
令和８年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

（令和７年度事務事業対象）

令和８年８月

岩出市教育委員会



岩出市教育振興計画案内人
ふわとろ☆ながなす

はじめに

岩出市教育委員会は、第３次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、教育目標である「人間性豊かな児童生徒の育成」をめざし、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を重点目標として掲げ、様々な教育活動を推進してまいりました。

令和７年度は、「学力向上と子供から高齢者まで学び続ける学習環境の充実」を主要施策に掲げ、これまで培った知見と経験を活かし、市民の皆様の期待に応えるべく、より一層の教育活動の充実と深化を目指し、教育部全職員が一丸となって全力で取り組みました。

本報告書は、令和７年度における施策の効果を検証し、当教育委員会の課題を抽出し、今後の教育行政展開の方向性を明らかにするとともに、絶えず改善を図りながら、市民から信頼される教育行政を推進するため、令和７年度に実施した事務事業の点検・評価をまとめたものです。

今回の点検・評価の結果を踏まえ、社会がどのように変化しようとも子供たちがふるさとへの誇りと愛着を持ち、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、そして、たくましく生きていくための健康や体力をバランス良く育むことに努めるとともに、市民誰もが主体的に学び続け、学びの成果が生かされる生涯学習社会の実現を目指し、市民から信頼される教育行政の推進に尽力してまいります。

令和８年８月

岩出市教育委員会



［語の表記について］

本紙では、「こども」の表記について事業名を除き、常用漢字表（平成２２年内閣告示第２号）に基づき「子供」に統一しています。

目　　次

Ⅰ　岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

１　目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２　実施方法について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

３　評価項目・内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

４　点検・評価の経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

５　教育委員会評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

６　点検・評価結果

【教育総務課】

（１）学校環境の充実（教育環境の整備）・・・・・・・・・・・・　3

（２）学校環境の充実（教育相談の充実）・・・・・・・・・・・・　5

（３）学校環境の充実（家庭・地域との連携）・・・・・・・・・・　6

（４）豊かな学びと学力向上（学力の向上）・・・・・・・・・・・　8

（５）豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）・・・・・・・・　１０

（６）豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）・・・・・・・・　１１

（７）青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）・・・　１３

（８）青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）・・・・・・・　１４

（９）青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）・・・・・・・　１５

(10）国際化の推進（多文化共生の推進）・・・・・・・・・・・・　１７

【生涯学習課】

（１）学校環境の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

（２）青少年健全育成の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

（３）文化・芸術活動の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

（４）生涯学習の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３

（５）生涯スポーツの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２６

（６）人権尊重の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
（７）文化遺産の保護・活用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
（８）歴史・伝統文化の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
【岩出図書館】
（１）図書館事業の充実（図書館運営事業）　・・・・・・・・・・・　３５
（２）図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）　・・・・・・・　３７
【民俗資料館】
歴史・伝統文化の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３９

７　教育委員会の点検・評価シート
【教育総務課】
点検・評価シート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４２
【生涯学習課】
点検・評価シート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５９
【岩出図書館】
点検・評価シート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８４
【民俗資料館】
点検・評価シート　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８８

Ⅱ　関連資料
○令和８年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について
・・　９０
○教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見　・・　９２
○岩出市教育委員会評価等実施要綱　・・・・・・・・・・・・・・・・　９５

Ⅰ　岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

１　目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、毎年、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的として実施する。

２　実施方法について

（１）教育委員会事務局の２課（教育総務課・生涯学習課）・２館（岩出図書館・民俗資料館）の令和７年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について妥当性、効率性、有効性などについて自己評価を行う。

（２）評価委員に（１）の事務事業について、担当職員等が説明を行い、複数回意見をいただく。

（３）評価委員の意見をもとに教育委員会が評価を行い、ＰＤＣＡ[1]、ＤＬＴＧ[2]、ＯＯＤＡ[3]のマネジメントサイクルを適切に使い分け、今後の方針・施策に反映させ、継続的に事務改善を図る。

（４）法律に則り議会へ提出するとともに内容を公表（ｗｅｂ）する。

３　評価項目・内容について

（１）各事業を、第３次岩出市長期総合計画に基づき【基本施策（重点施策）】ごとにまとめ、施策単位で点検・評価を実施する。構成は、〔基本方針〕〔主な取組状況〕〔総合評価〕〔評価委員会の意見〕とする。別添で、各課・館毎に評価シートを作成する。

（２）評価については、４段階評価とする。

「ａ：期待以上」、「ｂ：期待どおり」、「ｃ：やや下回る」、「ｄ：期待以下」

（３）今後の方向性については、４つの基準を示す。

「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」

---

[1] ＰＤＣＡ ＝ 「Plan（計画）」「Do（行動）」「Check（確認）」「Act（実行）」
仮説・検証型プロセスを循環させ、マネジメントの品質を高める枠組

[2] ＤＬＴＧ ＝「 Do（行動）」「Listen（観察）」「Think（考察）」「Grow（成長）」
実践と修正を細かく繰り返す枠組

[3] ＯＯＤＡ ＝ 「Observe（観察）」「Orient（状況判断）」「Decide（意思決定）」「Act（実行）」
迅速かつ正しい意思決定を行うための枠組み

４　点検・評価の経過

年　　月	会　議　等	内　　容
令和８年　７月	事務事業評価（各課・館）	事務事業評価（自己評価）の実施
令和８年　７月	第１回　点検・評価委員会	各事務事業の説明 各事務事業に対する質問・意見
令和８年　８月	第２回　点検・評価委員会	各事務事業に対する意見のまとめ
令和８年　９月	９月定例教育委員会	点検・評価報告書のまとめ
令和８年１０月	点検・評価報告書を市議会に提出、ｗｅｂ公表	

５　教育委員会評価委員

氏　　名	任　　期
鳥羽　　孝幸	令和７年４月１日～令和９年３月３１日
奥田　富代子	令和７年４月１日～令和９年３月３１日
鈴木　　晴久	令和７年４月１日～令和９年３月３１日

６　点検評価結果【教育総務課】

（１）学校環境の充実（教育環境の整備）

〔基本方針〕

老朽化が進む学校施設の長寿命化を図るとともに、気温や感染症などの学校環境、通学時の安全確保、就学援助による経済的負担軽減など、児童生徒が安全で安心な学校生活が送れるよう、学校環境整備の充実を図る。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　小・中学校の施設整備については、長寿命化計画に基づきトイレ改修及び教室の床張替工事を実施するとともに本年度では緊急性、優先度を考慮して岩出小学校屋内運動場・岩出第二中学校の防水工事を実施し、施設の耐用年数の向上を図った。

（工事実績）

小学校　　１７件、２０２，８１４，７００円

中学校　　９件、１８５，１６０，８００円

○　通学路整備工事については、各学校より危険箇所の報告を受け、関係機関（学校、ＰＴＡ、土木課、警察署、振興局、教育委員会）等の合同点検を実施し、改修工事を施工した。

（工事実績）

岡田地区通学路整備工事ほか４件、３，７６２，８８５円

○　教材・教具等の整備については、小・中学校から優先順位リストの提出を受け、教育委員会で精査・整備し、児童生徒の学習意欲の向上及び教職員の指導効率化に寄与出来た。

図書については、全ての小・中学校で蔵書数は標準冊数に達している。

（整備実績）

小・中教材備品計　　１，４３９，９３１円

小・中理振備品計　　３８４，１２０円

小・中図書購入計　　４，６８７，５０７円

○　特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽

減に努めた。

小学校：１３６名　支給額計　５，５９２，５８０円

中学校：　４５名　支給額計　２，５８９，３３０円

○　要保護・準要保護児童生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。また、新入学用品費、修学旅行費の事前支給を行い、保護者負担の軽減に努めた。

小学校：２８８名（うち要保護２名）　支給額計２０，３４１，８３０円

中学校：１８５名（うち要保護０名）　支給額計１９，９４８，９６９円

○　紀の国森づくり税を財源とした紀の国緑育推進事業については、小学校全校で現地学習、事後学習を実施することが出来た。

・森林体験（間伐体験・森のめぐみ体験）

参加児童数：５１０名　場所：日高川ふれあいドーム

・森林学習（木工体験）

参加児童数：５１０名　場所：各小学校

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

学校施設の長寿命化計画に基づくトイレ改修及び教室の床張替工事に加え、防水工事を実施するとともに関係機関との合同点検による通学路の危険箇所改修を計画的に実施した。また、今後の教育動向を見据えた環境充実として、各校の要望を精査しながら、理科振興備品をはじめ児童の学習意欲向上や指導の効率化に寄与する教材・教具等を重点的に整備した。

〔総合評価〕

◎　学校環境の充実（教育環境の整備）については、７事業の評価を実施し、７事業とも総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　経済的理由や特別な支援を必要とする世帯に対し、就学援助や特別支援教育就学奨励費を適切に支給し、国の要綱に準じた適正な執行により保護者の経済的負担の軽減と義務教育の円滑な実施を図った。

○　ハード面では、学校施設長寿命化計画に基づき岩出第二中学校のトイレ改修工事等を年次計画通り完了させるとともに、消防・空調設備の改修、通学

路の合同点検･整備を行い、児童生徒の安全確保と教育環境の充実に努めた。

○　ソフト面では、教材備品や図書の計画的な整備に加え、補助金を活用した「紀の国緑育推進事業」において５１０名の森林体験・学習を全小学校で実施し、児童生徒の豊かな学びを支えた。

○　今後は、施設の老朽化に伴う維持管理・ＬＥＤ化や非構造部材の耐震化、学習指導要領に即した教材の選定、さらには通学路の安全確保に向けた地域住民との連携強化などが課題である。

〔評価委員会の意見〕

○　老朽化が進む学校施設の長寿命化計画に基づき、全校舎の外壁改修や防水工事等を着実に進め、児童生徒の安全確保や避難所機能の強化に万全を期されたい。あわせて、関係機関と連携した通学路の危険箇所改修にも継続して取り組まれたい。

○　教材の購入にあたっては単なる更新にとどめず、次期学習指導要領の改訂情報や教育ＤＸ・生成ＡＩの動向を十分に見極め、真に必要なものを精査して選定されたい。

（２）学校環境の充実（教育相談の充実）

〔基本方針〕

心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指し、教育支援センター（名称：フレンド）と在籍校及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどと連携し、教育相談の充実を図る。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　「フレンド」通所児童生徒の心理的安定や社会的自立に向けて、入所時の丁寧な面談に加え、定期的な児童生徒・保護者アンケート（又は面談）を実施し、一人一人の不登校の背景や多様な教育的ニーズの的確な把握に努めた。

（通室実績）

入室児童・生徒数：小学生６名、中学生２５名（別途体験小学生6名、中学生12名）

延べ日数：小学生３８８日、中学生１，２６０日

来所相談件数：０件　電話相談件数：１件

学校への訪問：１件、学校からの訪問：１３５件

学校への電話連絡：９２件、学校からの電話連絡：１８３件

家庭への電話：０件、家庭からの電話：０件

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

居場所の魅力向上として、図書館講師による折り紙教室や読み聞かせ等の多様な体験活動を新たに実施し、通級へのきっかけ作りを進めた。また、社会的自立へのアプローチとして、中学校の職場体験に準じた市役所等の公共施設への訪問活動を導入し、社会とのつながりやキャリア意識の醸成を図った。

〔総合評価〕

◎　学校環境の充実（教育相談の充実）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　教育支援センター事業については、年々増加傾向にある不登校児童生徒数の削減に向け、フレンドに通う児童生徒の在籍校との連携強化、個別状況の的確な把握、スクールカウンセラー・不登校児童生徒指導員・訪問支援員による保護者相談など総合的な対応が図れた。

〔評価委員会の意見〕

○　いじめや不登校の未然防止・早期対応を図るとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応するため、スクールカウンセラー等の専門職や関係機関と連携した包括的な支援体制を構築されたい。

○　不登校の増加傾向に対し、校内サポートルームやＩＣＴを活用した多様な学びの場の整備及び指導における工夫の共有などについても念頭に置いた、今後の環境づくりにも取り組まれたい。

（３）学校環境の充実（家庭・地域との連携）

〔基本方針〕

保護者や地域住民の学校教育活動への参加・参画を進め、地域に信頼される学校づくりを行う。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　コミュニティスクール事業については、市内全小・中学校８校にそれぞれ学校運営協議会を設置し計１０１名の学校運営協議会委員を任命し、各校年間平均３．２回実施した。

また各運営プランを円滑に実施するためのコミュニティスクール研修会を開催した。

○　学校運営協議会での「熟議」の推進

和歌山県のアドバイザー派遣事業を活用した研修会等を実施。「熟議」をテーマに複数校で具体的な熟議を実践し、学校や地域が抱える課題解決に向けた、より実効性の高い協議の場へと発展させた。またコミスク通信を４回発行。取組内容の広報を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

市内全８校での学校運営協議会の開催（年平均３．２回）や研修会の実施に加え、県の補完事業を活用した「熟議」の実践により、地域人材や資源を巻き込んだ実効性の高い課題解決の場へと発展させた。また、「コミスク通信」を年４回発行し、協議に基づく施策の積極的な広報・発信に努めた。

〔総合評価〕

◎　学校環境の充実（家庭・地域との連携）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　市内全小・中学校での学校運営協議会の安定的な開催に加え、県アドバイザー派遣事業を活用した「熟議」の推進により、地域人材や資源を巻き込んだ実効性の高い課題解決の場へと発展させた。また、「コミスク通信」の発行を通じて協議内容の広報にも努めるなど、前年度の指摘事項を踏まえた「地域とともにある学校づくり」をより一層推進した。

〔評価委員会の意見〕

○　学校運営協議会と学校、教育委員会が緊密に連携し、地域の多様な人材や資源を積極的に取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組まれたい。

○　協議会での議論や学校運営の状況が地域住民全体へ波及するよう、デジタルツール等を積極的に活用した広報を強化されたい。

○　特定の層への負担偏重を防ぐため、多様な人材や次世代の参画を促し、学校運営協議会の持続可能性を高められたい。

（４）豊かな学びと学力向上（学力の向上）

〔基本方針〕

これまでの教育実践に加えて、最先端のＩＣＴ教育を取り入れ、学校教育や学習体制において、児童生徒の新たな学びを創造し、情報活用能力の育成と併せ、確かな学力と生きる力の育成に取り組む。

また、その育成にあたる教員の指導力向上に向け、研修の実施等による支援に取り組む。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　教育情報化推進事業については、ＧＩＧＡスクール構想第２期、共同調達による端末の更新に伴い、新ＯＳ（Ｇｏｏｇｌｅ環境）への移行期において、適切な時期にスタートアップ研修を集中実施したことで、教職員の基本操作スキルが底上げされ、新端末のスムーズな立ち上げと活用開始につながった。（延べ１２０名が参加）

・協働学習の際にＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合　７８.５％

・小学校事業実績額　１９８，６０６，９２５円

・中学校事業実績額　　９２，５９３，２８１円

○　小中学校学力向上実践研究事業について、文科省リーディングＤＸスクール事業の先進校視察等７件を通じ教員を養成。その知見を還元した小中５回の公開学習会には延べ３７４名が参加し、端末を活用した効果的な授業実践を地域へ広く普及して児童生徒の学力向上を図った。

・小中学校事業実績額　２，３６２，１５３円

主な内容：ＹＯＭＵワークシート年間３０回実施

学力向上プロジェクト委員会　１２回　延９６名参加

先進校視察（愛知県春日井市）　４名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　単なる機器の操作習熟にとどまらず、ＩＣＴ教育の意義や方向性を理解した指導者を養成するため、先進校視察の知見を還元する公開学習会を５回開催した。効果的な授業実践を地域へ広く普及させたことで、協働学習等でＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合を７８.５％に高めるなど、指導力の向上を図った。

〔総合評価〕

◎　豊かな学びと学力向上については、２事業の評価を実施し、教育情報化推進事業は、ＧＩＧＡ端末を円滑に更新出来たことから、「期待どおり」、小中学校学力向上実践研究事業は、リーディングＤＸスクール事業により教職員の指導スキルの向上には寄与したが、児童生徒の学力向上の成果としては評価指標を上回ることができなかったことから「期待以下」としたが、今後の方向性は「継続」とした。

○　新端末への移行期において、集中研修による教職員の基本スキルの底上げを迅速に図った。さらに、課題であったリーダー性のある教員育成と抜本的な授業改善に向け、文部科学省のリーディングＤＸスクール事業等を積極的に活用し、先進校視察の知見を還元する公開学習会を５回開催した。これらの取り組みにより、協働学習等でＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合が７８.５％に達するなど、地域全体の指導力向上を図った。児童生徒の確かな学力育成に向けた着実な成果へと繋げる。

〔評価委員会の意見〕

○　デジタル教科書の２０３０年度からの順次導入を見据え、先進国の事例や実証データを十分に研究されたい。学年・教科・使用場面を見極め、デジタルと紙の双方の強みを活かして多様な学びを保障し、学習成果の向上へつな

げられたい。

○　教育ＤＸ・クラウド活用による授業力向上と平準化のため、教員間のＩＣＴ活用スキルの二極化を解消するため、クラウド上での指導案やデジタル教材の共有・共同化を推進し、学校全体及び教科チームでの組織的な授業力向上と個別最適な学びの充実に取り組まれたい。

（５）豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）

〔基本方針〕

アスリートクラブ事業として陸上競技を通じ、児童の体力向上と心身の健全育成を図る。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　暑さが厳しくなる７月から９月は、日陰ができない大宮緑地での記録会を中央小学校に変更し、暑さ対策を講じながら、陸上競技を通じ、小学校３年生から６年生の児童の心身の健全育成に努めた。

実施回数：２６回　登録者数：２６３名　延べ参加者数：２，４６８名

実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　指摘のあった活動内容の充実に向け、楽しく活動できる長縄やジャベリックスローの機会を意図的に増やしたり、準備運動の内容を変えたりした。参加登録数は増加したが、参加率は低下したため、さらなる工夫が必要である。

〔総合評価〕

◎　豊かな学びと学力向上（心身の健全育成）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

○　アスリートクラブ事業について、活動内容の充実に向けた長縄等の導入や、登録者数の増加（２６３名）など一定の成果が見られた。また、酷暑期に実施場所を中央小学校へ変更する等の暑さ対策を講じた。しかし、年間活動参加率は３７．９％と前年度に続き目標値（５０％）を下回る結果となった。

参加率低下の一因である夏場・冬場の気候変動への対策を含め、児童が年間を通じて無理なく運動しやすい活動内容や時間設定など、さらなる工夫を講じていく必要がある。

〔評価委員会の意見〕

○　アスリートクラブ事業等の継続に向け、冬季や気候面への柔軟な対応策や「心身の状態の見える化」を図り、児童が年間を通じて安全かつ意欲的に参加できる「誰もが楽しく続けられる場作り」を講じられたい。

○　参加登録数の増加に対し実際の活動参加率向上が課題となっているため、児童の興味・関心を引くプログラム構成や参加意欲を高める施策を検討・実施されたい。

（６）豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）

〔基本方針〕

安全で安心な学校給食を提供するため、社会情勢による物価高の中でも国産国消を基本にできる限り地元産の新鮮な食材を取り入れながら、栄養バランスの取れた学校給食の充実と郷土愛を育む。

また令和６年度の学校給食費無償化前の滞納繰越額について、早期解消に向け積極的な滞納整理を進めるとともに、学校給食費における保護者負担軽減を図るため、国及び県の補助金事業を活用した運営に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　県の補助金を活用し、給食の無償化を実施した。

○　食器洗浄機入替及び排水溝修繕工事を夏休み期間に実施

○　物価高騰の影響から食材の仕入れに苦労した面もあったが、安全で安心な学校給食の提供に努めた。

○　給食費の徴収については学校との連携により保護者懇談時を利用した積極的な訪問徴収により、未納額の減少に取り組んだ。

・徴収率　滞納繰越分　６８．８１％（前年度対比－１１．６０％）

※現年度分は県補助金の活用に伴い、保護者からの徴収なし。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　県の補助金を活用した学校給食の無償化を実施し、物価高騰下においても国産国消の基本方針のもと、地元産食材を取り入れながら安全・安心な給食の提供と食材確保に尽力した。また、未納分の解消に向けては、現年度分の保護者負担がない強みを活かし、学校と連携した保護者懇談時の納付交渉など地道な督促活動を展開し、滞納繰越分の早期解消（徴収率６８．８１％）に向けて継続して取り組んだ。

〔総合評価〕

◎　豊かな学びと学力向上（学校給食の充実）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待通り」、今後の方向性は「継続」とした。

○　年次計画に基づき、食器洗浄機の更新や排水溝修繕工事等の計画的な施設整備・備品充実を図り、衛生管理の徹底と安全・安心でおいしい給食の提供に努めた。

○　県の補助金を有効に活用し、学校給食の無償化（保護者からの現年度分徴収なし）を継続したことで、子育て世帯における経済的負担の軽減に大きく寄与した。

○　依然として続く物価高騰への対応や給食単価見直しの検討、施設の老朽化に伴う計画的な修繕、また無償化継続に向けた財政要望や保護者への意識醸成などが今後の課題となっている。

〔評価委員会の意見〕

○　給食費無償化の推進に関連し、現在残されている保護者負担分の未納・滞納繰越額については、地道な督促活動と学校との連携により早期解消に向けて迅速かつ丁寧に対応されたい。

○　児童生徒の心身の健全な発達を支えるため、「安全性・栄養価」「国産国消」「経費負担」のバランスに重きを置いた給食提供に努められたい。広報や試食会等を通じ、保護者や市民への周知・理解促進にも継続して取り組まれたい。

（７）青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域及び行政が一体となり、子供たちが安心・安全に学校生活を送れるよう、青少年への犯罪防止に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　登下校時の危険防止のため、児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、防犯ブザーの携帯を奨励した。

各家庭で入学前に個人で事前に購入するなど、申請率は高くない。

また防犯グッズの所持率は学年が上がるにつれ低くなっている。

・補助対象者　　１５９名（前年度１８５名）

申請率４６．２％（前年度４０．１％）

・防犯ブザー所持率　　小学生７２．８％（前年度７１．３％）

１年生８５．７％（前年度８２．１％）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　防犯ブザーの購入費補助について、入学前の事前周知等により申請率は４６．２％（前年度比６．１ポイント増）、小学生の総所持率は７２．８％（同１．５ポイント増）へとそれぞれ向上を図った。学年進行に伴う所持率低下や日常管理の課題に対しては、各学校と連携して携帯の意義や点検の重要性を啓発し、登下校時における安全・安心な環境づくりと防犯意識の向上に継続して努めた。

〔総合評価〕

◎　青少年健全育成の推進（青少年を取り巻く環境整備）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　防犯ブザー補助事業について、小学１年生の所持率は８５．７％（前年度比３．６ポイント増）と、５年連続で目標値（８０％）を超える高い水準を

維持した。また、入学前の事前周知等の取り組みにより、申請率や小学生全体の総所持率（７２．８％）も前年度から向上を見せた。学年進行に伴う所持率低下や日常管理の課題に対しては、各学校と連携した携帯意義の周知や点検の啓発を進めており、児童の登下校時における安全・安心の確保に向けて、今後も本事業を継続・発展させていく。

〔評価委員会の意見〕

○　防犯ブザーの電池切れや故障等による不作動を防止するため、学校及び家庭での定期的な点検作業（テスト鳴らし）の実施を徹底されたい。

○　防犯ブザーの携帯促進にとどまらず、自転車ヘルメットの着用徹底など、交通安全教育とあわせた総合的な安全指導を推進されたい。

（８）青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）

〔基本方針〕

防災意識が高まる中、被災時には地域の救援活動の核となる中学生に対し、実践的な防災訓練を実施するとともに、家庭・学校・地域などで防災に関する啓発や指導のできる人材育成を目指す。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　中学校防災訓練については、災害への危機意識を高める授業の一環として、中学３年生全員を対象として、那賀消防組合、市消防団及び市危機管理室等の協力を得て実施した。

（参加状況）

岩出中学校：２４７名　岩出第二中学校：２１６名

○　防災ジュニアリーダー育成事業については、防災ジュニアリーダー育成講座を那賀消防組合防災センターで実施。

防災センター職員による丁寧な指導のもと、防災の啓発・指導・実践活動ができるジュニアリーダーの育成が行われた。

（参加状況）

防災ジュニアリーダー育成講座　　２７名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　緊急時に対応できる柔軟な行動力を養うため、関係機関と連携した実践的な防災訓練を中学３年生全員に実施した。また、地域防災の核となる人材育成に向けて「防災ジュニアリーダー育成講座」を開催し、専門的な指導のもとで２７名のリーダーを育成するなど、主体的に行動できる地域防災体制の強化を図った。

〔総合評価〕

◎　青少年健全育成の推進（青少年の活動推進）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　防災ジュニアリーダー育成事業では２日間の開催を再開し、避難所運営ゲームの導入により避難所運営を疑似体験させるなど、受講生アンケートでも好評を得られる有意義な講座を展開出来た。

○　災害が相次いで発生する昨今の状況を鑑み、今後は地域防災活動の中心的な役割を担うジュニアリーダーに対し、さらなる意識高揚と主体的な活動を促すためのプログラム内容の精選に努めていく。

〔評価委員会の意見〕

○　探究型・実践型の防災教育と地域参画を推進されたい。

○　「知る・学ぶ」段階から「行動する」防災教育への移行を見据え、学校の状況や実態に応じつつ、地域との連携や防災活動への関わり方について模索されたい。

（９）青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）

〔基本方針〕

望ましい勤労観、職業観の育成のために、生徒が直接働く人と接し実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させる。

また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を培うための教

育活動として充実を図る。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　和歌山を元気にする職場体験事業については、基本的な感染症対策を講じつつ、各企業の受け入れによる職場体験を実施出来た。

　職場体験にあたっては、マナー教室の開催により社会規範やマナー等の必要性を感じさせるとともに、ＰＡＳカード（学年別進路適性診断システム）を使用することで、将来の夢や職業感について考える機会を持ち、自分にふさわしい職業や仕事への関心、意欲を高めるきっかけづくりが出来た。

体験受入事業社数　岩出中学校　　８１社　　岩出第二中学校　　７０社

体験参加者数　　岩出中学校　２０６名　　岩出第二中学校　２１１名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　指摘のあった「効果的なものになるよう、体験前後の取組の充実に努められたい。」について、マナー教室やＰＡＳカード[4]を活用し、職業について深く考える取組へと改善を図った。

〔総合評価〕

◎　青少年健全育成の推進（自立と成長の促進）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　市内・近隣の多くの事業所の協力を得て、３日間の職場体験を円滑に実施し、教室では得られない仕事や人との関わりを通じた豊かな学びの機会を提供出来た。

○　今後は、都市化が進む地域実態に伴う一次産業（農林漁業等）の体験先確保の難しさや、事業所の休業日・急な都合による日程調整への対応が課題であり、さらなる体験先の開拓や受け入れ体制の検討を進める必要がある。

〔評価委員会の意見〕

○　職場体験の場を幅広く確保するため、民間企業や地域事業者への働きかけを強め、受入先のさらなる開拓・確保に取り組まれたい。

4　Path Aptitude System　進路・職業に対する生徒の興味、適性を調査する学年別の検査

（１０）国際化の推進（多文化共生の推進）

〔基本方針〕

近年の外国人観光客や外国人住民の増加により、日常生活において市民と外国人が関わる機会の増加が予想されることから、外国青年招致事業を実施し国際交流活動の推進、多文化共生社会を担う人材の育成に努めることで、お互いを認め合い暮らしやすいまちづくりに取り組む。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　外国青年招致事業によりＡＬＴ[5]を配置し、生きた英語や異文化に触れる機会を創出した。令和７年度４月に小学校ＡＬＴ１名が急遽退職となった為、４月から７月の期間は委託によりＡＬＴが派遣された。２学期から小学校のＡＬＴ２名が新規着任となったことから、スムーズに指導・交流にあたれるよう新体制への円滑な移行とサポート体制の充実を図った。継続体制である中学校とともに、ＡＬＴとの日常的な関わりを通して児童生徒の国際感覚を養い、多文化共生社会を担う人材の育成とお互いを認め合う意識の醸成に努めた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　グローバル社会への備えとして、小学校での新規ＡＬＴ２名の受け入れと柔軟な配置により、児童生徒がＡＬＴと英語で関わる機会や時間の拡充に努めた。

〔総合評価〕

◎　国際化の推進（多文化共生の推進）については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　外国青年招致事業によるＡＬＴの配置を通じ、児童生徒が日常的に生きた英語や異文化に触れる環境を維持した。令和７年度は、小学校における新規ＡＬＴ２名の着任に伴うサポート体制を充実させ、新体制への円滑な移行を図るとともに、学校現場における柔軟な配置等により、児童生徒がＡＬＴと

5　外国語指導助手。Assistant Language Teacher の略

関わる機会や時間の更なる拡充に努めた。今後は、グローバル社会に対応できる人材育成と多文化共生社会の醸成に向けて本事業を推進していく。

〔評価委員会の意見〕

○　民間委託によるＡＬＴ派遣については、ＪＥＴプログラム[6]等の他施策との比較、メリット・デメリット、費用対効果や指導の質等の観点から定期的に比較・再検討を行い、事業の見直しに取り組まれたい。

○　ＡＬＴとの日常的な交流等を通じた事業内容の充実を図り、児童生徒の国際感覚の醸成や生きた語学力の向上につなげるとともに、日本語指導が必要な児童生徒への支援充実にも取り組まれたい。

6　語学指導等を行う外国青年招致事業　The Japan Exchange and Teaching Program の略

６　点検評価結果【生涯学習課】

（１）学校環境の充実

〔基本方針〕

学校･家庭･地域が一体となって子供の育ちや学びを支えるため､学校支援、学習支援、校内環境整備など学校支援ボランティアによる取組を推進する。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　学校支援地域ボランティア活動事業については、ボランティアの募集を行うとともに、各小中学校における地域ボランティアによる授業補助や下校指導、農園整備、合同地域清掃などの活動を支援した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　合同地域清掃を実施し、児童・生徒が地域と交流をもつとともに、地域へ貢献した。

○　市の広報紙や市のウェブサイトをはじめ､学校から保護者への声がけのほか､職員においても各方面の知り合いへの声がけ等を積極的に行い、ボランティアの人数増加に努めた。また、各学校には、各校で登録されているボランティアが希望する活動項目と学校が必要とする活動項目が一致する場合、積極的なボランティア活用(声がけ)に努めていただけるよう要請を行った。

〔総合評価〕

◎　学校環境の充実については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待以上」、今後の方向性は「継続」とした。

◎　地道に取組を継続することでボランティア登録者数が比較的大きく伸びた。

○　学校支援地域ボランティア活動事業については、市内全ての小・中学校において活動を実施することが出来た。

○　学校支援地域ボランティア活動事業費を全ての学校で使用し、活発な取組への充実を図ることが出来た。

〔評価委員会の意見〕

○　地道な取り組みによりボランティア登録者数が大きく伸びた点は評価される。今後も安定的な学校支援ボランティアの確保に努めるとともに、利用環境の改善や交流機会の拡充を図り、引き続き活発な取組を推進されたい。

（２）青少年健全育成の推進

〔基本方針〕

青少年健全育成に関わる各種団体の活動の充実と各組織との連携強化に努め、家庭・学校・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子供の育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する意識の向上に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　青少年健全育成事業については、青少年の被害・非行防止全国強調月間にあわせた講演会を開催したほか、青少年健全育成に関わる団体の活動を支援し、青少年育成市民会議では、青少年育成市民大会において、少年メッセージの発表や「絆」ポスター、育成会を表彰したほか、市内小学校対抗のスポレク＆あそぼうさいの開催、街頭啓発、育成だより・育成通信の発行、地域活動連絡協議会では、ドッジボール大会、子ども・リーダー交流会や指導者研修会の開催などに取り組んだ。また、「あいさつ運動」や「子供安全パトロール隊」などの見守り活動を通じて子供たちの安全を守る環境づくりに取り組んだ。そのほか、青少年センターでは、青少年の健全育成と非行防止のため、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに取り組んだ。

○　はたちのつどい事業については、はたちという人生の節目を迎える方々を励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育むために開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　スポレクに新たに防災の種目を取り入れ「スポレク＆あそぼうさい」として実施し、内容の充実を図った。

○　青少年健全育成講演会や小学校区別（合同）懇談会、夏・冬の街頭啓発において、インターネットによる犯罪・被害防止等の啓発に取り組んだ。

○　はたちのつどいに岩出市出身の演者を迎え、ふるさと意識の醸成に努めた。

〔総合評価〕

◎　青少年健全育成の推進については、２事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」１事業、「やや下回る」１事業、今後の方向性は２事業すべて「継続」とした。

○　青少年健全育成事業については、関係団体や地域との協働で見守り活動やイベントを実施出来た。

○　はたちのつどい事業については、従前の規模で開催し、特に問題もなく無事に式典とイベントを開催することが出来た。式典後の記念イベントでは、岩出市出身のマジシャン新子景視氏による本格的なマジックを披露いただき会場は大いに盛り上がったものの、参加率は６９．４％と目標値に届かなかった。

〔評価委員会の意見〕

○　青少年健全育成事業については、地域や関係機関との連携を深めながら、継続的な実施と事業内容の充実を図られたい。

○　「はたちのつどい」事業については、事前にアンケート調査を実施し、参加者の興味やニーズを反映した内容とすることで参加率の向上を目指されたい。

（３）文化・芸術活動の推進

〔基本方針〕

文化・芸術活動の振興と普及を図るため、活動団体への支援に努めるととも

に、文化・芸術にふれあい、理解と関心を高めるための作品展示や活動発表の機会提供に取り組む。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　文化協会助成事業については、市文化協会に対して助成金を交付した。

　　文化協会　３２クラブ（休会中４クラブ除く）　５７２名

○　文化祭事業については、市民総合体育館において開催し、様々な作品展示や文化協会、保育所等による芸能発表を行い、体験コーナーや物販コーナーを実施し、旧和歌山県議会議事堂において囲碁大会・将棋大会を実施した。また、新たに小・中学生を対象とした絵画作品コンテストや舞台ピアノを自由に演奏出来る催しを実施した。

　　来場者数　１５，５１２人

○　公民館フェアーは、総合保健福祉センターにおいて開催し、ギャラリーはふれあいまつり前日と当日の２日間、コンサート等はふれあいまつり前日に実施した。公民館利用団体等が、３階ロビーや会議室で作品展示、多目的ホールで舞台発表を行ったほか、体験コーナーも実施した。

　　コンサート部門とギャラリー部門を合わせて２，４４５人の観覧があった。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　文化祭事業については、令和６年度に続き学生等の団体による芸能発表や、新しく小･中学生を対象として岩出市の好きなところなどを描いてもらった作品のコンテストを実施して、若年層の参加を促進するとともに、世代を超えた交流や地域文化の継承に繋がる取組を行うことが出来た。

○　文化協会助成事業については、文化祭での作品展示や芸能発表を通じてクラブのＰＲを行い、作品展示では新たに異なる種目の合同展示を行うなどして、クラブの活性化と交流を図った。

〔総合評価〕

◎　文化・芸術活動の推進については、３事業の評価を実施し、総合評価は、「期待以上」１事業、「やや下回る」２事業、今後の方向性は３事業すべて

「継続」とした。

○　文化協会助成事業については、文化・芸術活動の振興と普及を図るために必要な事業であり、各クラブが継続して活動し、文化協会全体が活性化するよう活動支援に努めたが、会員数の減少が進んでいる。

○　文化祭事業については、これまでの催しに加えて、小・中学生を対象とした絵画作品コンテストや舞台ピアノの自由演奏など新しい催しを実施して、多くの方に来場いただくことが出来た。

○　公民館フェアーについては、令和６年度に続きコンサート部門がふれあいまつりの前日の実施となったが、同日の来場者数は増加して、多くの方に楽しんでいただくことが出来た。

〔評価委員会の意見〕

○　文化祭事業においては、若年層や中高生の参加拡大をさらに推進し、世代を超えた交流や地域文化の継承促進につなげる取組をされたい。

○　文化協会助成事業については、今後も所属クラブの助成を継続し、活動の活性化を図るとともに、新規会員の獲得に努められたい。

（４）生涯学習の充実

〔基本方針〕

市民一人一人一人生きがいを持って、人生を送ることの出来る活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことが出来る環境づくりに努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　放課後子ども教室推進事業については、地域の方々の参画を得て、学習活動や文化活動、地域住民との交流活動に取り組んだ。新規教室としておやつ作り教室、再開教室としてバルーンアート教室を実施した小学校もあり、地域住民との交流及び体験の幅を広げることが出来た。

６小学校８２教室、参加児童延べ人数　２，１２９名

○　生涯学習を考えるつどい事業については、文化祭の前夜祭として「オータ

ムコンサート」を開催、２８７名が来場し、出演者が選曲にこだわり、様々な世代が楽しむことが出来るコンサートとなった。

○　公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）については、６０歳以上対象のふれあい学級、１８歳以上対象の成人講座、保育所等の保護者対象の家庭教育学級を実施。ニーズを把握し講座内容を充実させるため、参加者や保育所等にアンケートを実施した。

ふれあい学級は、１０講座、参加者数は延べ１，８５７名

成人講座は、１０講座、参加者数は延べ８５０名

家庭教育学級は、市内の保育所等１０か所（うち１か所はインフルエンザ流行により中止）、参加者数は９２５名

○　公民館教室事業は、日常生活に活かせることや楽しく学び続けることが出来るものを選んで２０種の教室を各地区公民館で開催（参加者数は３０３名）した。

○　公民館講座事業は、夏期・冬期の子供向け講座を、冬期の一般向け講座、にじいろ講座（障害者対象講座）を実施。

・夏のこども講座

「サマークッキング」を小学４～６年生を対象として３回、「和菓子づくり」を小学１～３年生を対象として３回開催し、参加者数は１０８名

・冬のこども講座

「簡単焼きドーナツをつくろう」を小学生全学年とその保護者を対象として２回開催し、参加者数は２８組、５５名

・一般講座

「はじめての編み物」を２回開催し（追加開催含む）、参加者数は２１名

・にじいろ講座（障害者対象講座から名称を変更）

リズムエクササイズ２回、読み聞かせ、ヨガ、段ボールアート、まが玉づくり、体操、音楽講座を各１回開催し、参加者数は１０９名

○　地区公民館運営事業については、山崎地区公民館において外壁等改修工事、岩出地区公民館において１階大会議室ほか内装等改修工事、駐車場西側外灯等改修工事を行うとともに、各地区公民館において必要な修繕を行い、施設

設備の充実と機能の維持を図った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　放課後子ども教室事業については、講師と教室定員等を検討し、児童の安全・安心な居場所を最優先事項とし実施した。また、おやつ作り教室を新規教室、バルーンアート教室を再開教室として実施することで、教室内容の充実に努めた。

○　生涯学習を考えるつどい事業について、地域で活躍している演者を選定し、チラシを新聞折込ではなく、全戸配布することにより、より多くの市民に周知するとともに、演者にも広報活動をしていただいた。

○　公民館事業については、参加者や保育所等へのアンケートを実施し、市民ニーズに添う内容とするとともに、庁内各課に講師を依頼したりチラシ等を配布するなど、市の事業の市民への周知に努めた。

○　公民館教室事業、公民館講座事業については、アンケートを実施するなど学習ニーズの把握に努め、一部の教室の定員数の見直しや、障害者向け講座などに新しい種目を取り入れるなど内容の充実を図った。

○　地区公民館運営事業については、山崎地区公民館外壁等改修工事や岩出地区公民館駐車場西側外灯等改修工事や各地区公民館の修繕等により施設の長寿命化や安全対策を継続して実施し、施設の機能強化を図った。

〔総合評価〕

◎　生涯学習の充実については、６事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」３事業で、「やや下回る」３事業とし、今後の方向性は６事業すべて「継続」とした。

○　放課後子ども教室推進事業については、当初の計画どおり実施し、児童の安全・安心な居場所を提供することが出来た。

○　生涯学習を考えるつどい事業については、より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供することを目的に実施し、参加者から好意的な評価を受けることが出来たが、参加者目標を達成出来なかった。

○　公民館での教室や講座の実施については、教室では、人気の高い己書や

季節の和菓子教室の定員を増やすとともに朗読・読み聞かせ教室を復活させ、講座では、主に障害者向けのにじいろ講座で読み聞かせの講座や楽器演奏の講座など新しい種目を取り入れ内容の充実を図った。

○　公民館運営事業については、山崎地区公民館外壁等改修工事を行って同施設の機能強化を図るとともに、令和８年度オープンの観光案内所に隣接する岩出地区公民館では、１階大会議室ほか内装等改修工事や駐車場西側外灯等改修工事、２階和室壁修繕を行って同施設を快適に利用してもらえるよう環境を整備した。また、公共施設予約システムの導入により、公民館使用申請時の利便性が向上して、利用者数の増加につながった。

〔評価委員会の意見〕

○　生涯学習を考えるつどい事業については、市民が生涯学習について考え、交流する場として開催され、文化や芸術の理解促進に寄与している。更なる参加者増加を目指し、演者の選定や広報活動の充実を図られたい。

○　公民館教室事業については、アンケートを実施し、ニーズの把握に努め、障害者向け講座などに新しい種目を取り入れ内容の充実を図られたことは評価出来る。

○　地区公民館運営事業については、施設の長寿命化と安全対策を継続し、福祉避難所となることも考慮のうえ改修等を進められたい。

（５）生涯スポーツの推進

〔基本方針〕

市民一人一人がライフステージに応じた生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツを通じての体力づくり・健康づくりに親しむことが出来る環境づくりに努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　市民運動会事業については、大宮緑地総合運動公園においてスポーツの秋

に開催し、いきいき広場のパークゴルフ場を無料開放することで、幅広い市民の方に体験の場を提供出来た。また、昨年に引き続き「はたらくくるまコーナー」として交通安全フェアとコラボを行い、市内外からの参加者による交流人口の増加にも寄与出来た。

来場者数　７,０４６名

総合スポーツ大会は、市民の健康、体力の増進、競技力の向上等を目的に各スポーツ協会の主導により９月～１月の間に開催した。

・実施競技団体　１２団体

グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、ハンドボール、剣道

○　市マラソン大会事業については、ｔｏｔｏ（スポーツ振興くじ）助成金を活用し、生涯スポーツの普及・振興や健康・体力づくりの促進、観光拠点「ねごろ歴史の丘」を舞台とした岩出市の魅力発信を目的に開催した。広報活動では、公式インスタグラムアカウントを開設し、ＳＮＳ[7]を通じた積極的な情報発信・ＰＲを展開した。市制施行２０年の記念大会として、北京オリンピック銀メダリストの朝原宣治氏をゲストランナーに招聘するとともに、小学生対象のウォーミングアップ教室を開催した。エイドステーションでは、和歌山県産ブランドいちご「まりひめ」を提供し、キッチンカーの出店とあわせて参加者・来場者を楽しませた。

参加者数　１,３１７名、コスプレ１５組　　当日来場者数　３,８５９名

○　スポーツ教室事業については、３歳の子供とその親対象の親子体操教室、満１８歳以上対象のヨガ教室・エアロビクス教室・ヘルスアップ教室、概ね５０歳以上対象のウォーキング教室を実施した。

親子体操教室は、７３名の参加

ヨガ教室は、４６名の参加

エアロビクス教室は、６０名の参加

7　友だちなどとつながって、文章や写真、動画などで自分を表現（ひょうげん）したり、コミュニケーションするサービス　Social Networking Service の略

ヘルスアップ教室は、２２名の参加

ウォーキング教室は、２０名の参加

また、スポーツ推進委員会や他部署のイベントとのコラボにより、ニュースポーツ教室の開催を実施した。

○　スポーツ少年団助成事業及びスポーツ協会助成事業については、スポーツ少年団とスポーツ協会に対して助成金を交付した。また、スポーツ少年団の団員確保に向けて、昨年に引き続き「一日体験会」を実施した。

スポーツ少年団　１７団

スポーツ協会　　１８協会（４７団体）

○　大会等選手派遣補助事業については、スポーツ少年団やスポーツ協会に所属するチームや個人の大会出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会１２件、近畿大会７件、県大会６件の計２５件

○　スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、ｔｏｔｏ（スポーツ振興くじ）助成金を活用し体育施設の整備を行った。また、総合体育館においてフリー開放を実施するとともに、体育施設の定期点検を毎月一回職員が確認し必要な修繕を行った。他にも、新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、災害時に運搬可能なトイレコンテナを根来総合運動広場に設置した。平常時は女子トイレとして使用することで、同広場トイレの男女兼用状態を解消した。

○　いきいき広場では、グループ利用の促進と施設の有効活用を図るため、３０名以上の団体であれば利用者全員が市内料金で利用出来る「団体割引制度」を新たに導入した。また、より多くの市民に施設を知ってもらい、幅広い層へ利用を広げるためのイベントとして、「市長杯」や「世代間交流キャンペーン」を実施した。これらの取り組みを通じて、施設の認知度向上とさらなる利用者の増加につなげている。

来場者数　延べ６，８１３人

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　市民運動会事業において、いきいき広場パークゴルフ場を無料開放し、競技人口の裾野拡大を図った。また、交通安全フェアと連携した「はたらくく

るまコーナー」を開催し、災害時に運搬可能なトイレコンテナや工事現場で使用する重機などを展示した。

○　市マラソン大会事業については、ＳＮＳを活用し広く周知を行った。また、エイドの提供やキッチンカーの出店など、参加者・来場者への飲食提供を通じてイベントを盛り上げた。

○　スポーツ施設整備事業については、岩出市大宮緑地総合公園多目的競技場の人工芝をｔｏｔｏ（スポーツ振興くじ）助成金を活用し、人工芝の全面張替工事を実施した。最新仕様を採用することで、クッション性・排水性ともに大幅に向上し、選手の安全性と競技環境の質が飛躍的に改善され利用者も増加した。

〔総合評価〕

◎　生涯スポーツの推進については、８事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」３事業、「やや下回る」３事業、「期待以下」２事業、今後の方向性は８事業すべて「継続」とした。

○　市民運動会事業については、市民へのスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係をはぐくむとともに、明朗・活発な人間育成に資するために必要な事業である。参加者数は目標値に達していない状況であることから、今後もより多くの市民が参加しやすい環境づくりに努めながら実施する。

○　市マラソン大会事業については、市民の健康・体力づくりの促進と本市の交流拠点となる根来を広く周知することが出来た。一方、エントリー人数は目標値を下回っていることから、今後はＳＮＳでの周知強化やイベント内容の充実等を通じて、エントリー数の増加に取り組む。

○　スポーツ教室事業については、市民の健康・体力づくりとふれあいの場を提供することが出来た。今後も、地域スポーツ活動の活性化を図るため、市民のニーズに応えられるようなニュースポーツの実施に取り組む。

○　スポーツ少年団助成事業、スポーツ協会助成事業及び大会等選手派遣補助事業については、スポーツ関係団体の育成と強化を図ることが出来た。

○　スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、定期点検と必要な工事や修繕を行うことで、体育施設の安全性と快適性の確保に努めることが出来た。

〔評価委員会の意見〕

○　市民運動会事業及び市マラソン大会事業については、目標値を下回る参加者数等の状況を踏まえ、事業内容の見直しや魅力向上を図るとともに、アンケート等による参加者の声を定期的に反映させられたい。また、ＳＮＳ等のデジタル媒体を積極的に活用した周知や呼びかけにより参加率の向上につなげられたい。

○　スポーツ少年団助成事業、スポーツ協会助成事業、大会等選手派遣補助事業については、生涯スポーツの振興と市民の健康づくりにおいて重要な役割を担っていることから、今後も計画的な支援と柔軟な運営により、関係団体の育成・強化と一層の成果向上を目指されたい。

○　スポーツ施設運営事業については、定期点検や必要な修繕により安全性・快適性の確保に努めている点は評価出来るが、引き続き施設の質向上に重点を置いた改修・更新を計画的に実施し、利用者満足度の向上と利用者数の増加につなげられたい。

　また、スポーツ施設整備事業についても、中長期的な視点に立った計画的な整備更新を進められたい。

（６）人権尊重の推進

〔基本方針〕

　児童生徒への人権教育や家庭・学校・地域など幅広く市民の意識醸成につながる効果的な取組に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　人権教育啓発事業については、講演会の開催や小・中学生の人権作文集の発行、人権ポスターの展示などを実施した。また、県補助金を活用した保護者学級を全ての小学校で開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　人権講演会では、図書館と共催し、児童文学作家を招き、広島への原爆投下について講演いただいた。昨年度と違ったテーマで実施することで昨年度とは異なる参加者層を開拓し、市民に人権問題に対する正しい認識を広めた。

○　人権作文集の発行や保護者学級の実施を通じて、近年増加しているＳＮＳ等に関する人権問題も含めた人権に関する様々なテーマについて考えてもらう機会とした。

〔総合評価〕

◎　人権教育尊重の推進については、１事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○　人権教育啓発事業については、人権尊重の推進のために必要な事業であり、今後も講演会の開催や啓発活動等に取り組み、人権意識の高揚を図る。

〔評価委員会の意見〕

○　市民への情報発信を強化し、より多様な市民が主体的に参加出来る人権啓発を目指されたい。

（７）文化遺産の保護・活用

〔基本方針〕

文化遺産については、周辺環境も含めた保護と活用に努める。根来寺境内に所在する文化遺産については、関係機関との連携を図りながら、保全・活用に取り組む。「文化財保存活用地域計画」を作成し、計画的な文化財の保護・活用に取り組む。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　文化財保存事業については、市内の指定文化財の維持、管理、修理等に要する経費への補助を行い、保存・活用を図るとともに、市が管理者並びに管理責任者となっている指定文化財の保護・保全を図るため、整備等に係る事業を実施した。

文化財保護審議会及び国史跡根来寺境内周辺保全管理委員会では、文化財の保存及び活用に関する事項について審議を行った。

○　文化財活用事業については、埋蔵文化財の公開・活用のほか、岩出図書館並びに岩出市民俗資料館と連携した普及・啓発事業の実施、紀の川流域４市町合同公開講座の実施、講師等の派遣等の事業を実施することにより、文化財の普及・啓発を行った。

この他、文化財保護を推進していくため、「文化財保存活用地域計画」の作成に向け、庁内連絡会議並びに協議会を設置し、必要な協議を行った。

○　埋蔵文化財発掘調査事業については、根来寺本坊新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業を円滑に行うことが出来た。また、開発行為等により影響を受ける埋蔵文化財に対し、保護資料を作成することが出来た。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　近代以降の文化財や先人の発掘については、「文化財保存活用地域計画」作成に伴う文化財リストを作成し、把握に努めた。

文化財の火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検など）の定期的な見直しや、機器の劣化対策等については、指定文化財管理事業として、文化財所有者に対し、指導・助言を行うとともに、経費面においても一部支援を継続して行い、適切な維持・管理に努めた。

○　「ふるさと岩出」への誇りの醸成や観光振興に直結する事業であるとの認識をもち、各小学校での「ふるさと学習」の実施、岩出図書館並びに民俗資料館と連携して実施した文化財のパネル展示や学習会などの事業を本年度も実施した。

○　文化庁や県の補助金制度を活用した文化財管理事業については、本年度は該当する事業がなかった。

〔総合評価〕

◎　文化遺産の保護・活用については、３事業の評価を実施し、総合評価は、「期待以上」が１事業、「期待どおり」が２事業、今後の方向性は３事業「継続」とした。

○　文化財保存事業については、市内に所在する指定文化財の適切な管理を行

い、文化財の保護・保全を図ることが出来た。

○　文化財活用事業については、年間事業計画の達成件数を大きく上回ることが出来た。次年度も引き続き文化遺産の保護・活用を図る事業に取り組んでいく。

○　埋蔵文化財発掘調査事業については、根来寺本坊新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業を円滑に行うことができ、保護資料を作成することが出来た。

〔評価委員会の意見〕

○　火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検等）の定期的な見直しや劣化対策を計画的に進められたい。また適切な保存管理のため、文化庁や県の補助・助言制度を積極的に活用されたい。

○　文化財は「ふるさと岩出」への誇りの醸成や観光振興に直結する事業であるため、今後も持続的で魅力ある取組を展開されたい。

（８）歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

本市の伝統文化である「根来の子守唄」を後世に伝えるため、保存・継承活動を支援するとともに、伝統文化の価値や魅力を発信する取組を行う。

「ふるさと学習」を通じて「ふるさと意識の醸成」に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　根来の子守唄等保存活用事業については、大阪･関西万博に参加するなど、積極的な活動を実施することが出来た。

○　根来の子守唄継承者育成事業並びに出前授業としては、「根来の子守唄つくし」の活動の他、和歌山信愛大学の学生や、地域の方々との協働によるふるさと学習の実施により、根来の子守唄の普及・啓発が出来た。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　文化資源である根来の子守唄を地域の誇り･賑わいにもつなげる事業を展開するため、根来の子守唄保存会や根来の子守唄つくしとの連携を図り事業

を行った。また、「子守唄の原風景を訪ねる」と題した事業を展開し、地域の方々との連携を広める取組を実施した。

○ 「根来の子守唄」以外の文化財の発掘については、民話や伝承をはじめとした文化遺産の掘り起こしに努めた。

〔総合評価〕

◎ 歴史・伝統文化の振興については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

○ 小中学生によるユニット「根来の子守唄つくし」の活動をさらに発展させるため、様々な事業に取り組むことが出来た。

〔評価委員会の意見〕

○ 地域固有の文化資源である「根来の子守唄」を継承し、地域の誇りや賑わいにもつなげる事業展開を図られたい。

６　点検評価結果【岩出図書館】

（１）図書館事業の充実（図書館運営事業）

〔基本方針〕

市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図るため、図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信するとともにイベント、講演会を開催する。

イベント開催、日常の図書館運営には、図書館ボランティアの協力が必要であり、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。

また、岩出図書館資料収集基準に基づき、公共図書館の役割、利用者各層の要求及び社会の動向を十分配慮して、広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等に資するため、図書等を幅広く収集し、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　図書館利用促進事業については、子供向け体験教室４回、映画会３４回、講座・講演会６回、その他イベントを２４回実施した。

・令和７年度実績（前年比）

入館者数　１５７,４０８名（2,２３６名増）

貸出冊数　３３３,２７０点（１５,０００点減）

貸出者数　１００,７７９名（1,８８７名減）

登録者数　　４１,２９４名（1,０６７名増）

○　図書館ボランティア活動支援事業については、岩出図書館ボランティアは令和７年度末で９１名の登録となった。図書館ボランティア養成講座を２回開催した。また、高校生ボランティアの受入については５校２９名、大学生等ボランティアを３校５名受入した。

○　図書等購入事業については、ほぼ計画通り資料を購入できた。できるだけ利用者の要望に応えながら、資料の充実を図った。

図書購入実績

・一般図書　　３，７０９冊
・児童図書　　２，５５３冊
・参考図書　　１４７冊
計　　６，４０９冊

視聴覚資料購入実績

・ＤＶＤ　　４６点
・ＣＤ　　２０点
計　　６６点

電子書籍　　２３０ライセンス（２３０コンテンツ）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○令和７年度は、東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム[8]（以下、「東大ＦＳ」という。）事業を通じて多彩なイベントを実施した。市民協力による昆虫標本展や昭和１００年展、シネマ・クラシックなど新たな事業を展開した。また、図書館ボランティアは学生を含めて増加傾向にあり、市民との協働体制の強化が進んだ。

〔総合評価〕

◎　図書館運営事業については、３事業の評価を実施し、総合評価は２事業が「期待どおり」、１事業が「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

○　図書館利用促進事業について、全館でみると入館者数は増加したものの、貸出冊数及び貸出人数は伸び悩んだ。来館促進の効果が一定程度確認できたが、貸出冊数にはつながっていない。来館後の利用行動への誘導の工夫に努める。

○　図書館ボランティアについては、学生を含む新規参加希望者は増加している。学生は活動内容が限定される課題があり、柔軟な受入体制の構築やコーディネート機能の強化が必要である。

○　令和７年度末で、岩出図書館（分館・分室、電子書籍含む）の蔵書冊数は３８３，０１２冊となった。

8　学生がチームを組んで地方自治体などの現場に入り、1年間かけて地域課題の解決に向けた調査や政策提案を行う体験型教育プログラムを指す。

〔評価委員会の意見〕

○　工夫を凝らした各種イベントの実施を評価するとともに、イベント終了後の来館者の流れが図書に向かうような動線や企画の工夫をされたい。

○　電子書籍サービスやＷｅｂ利用者カード、オンラインイベント等のデジタル活用を一層充実させ、「非来館型利用者」の獲得と満足度向上を目指されたい。

（２）図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域がそれぞれの機能を発揮し、子供が自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子供の発達段階に応じた読書活動を積極的に推進する。また、図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子供の身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　子供の読書活動に関する様々なイベントや展示の実施、学校等の図書館見学・出前授業、学校へのブックリストや図書館イベント案内等の配付を行った。

図書館司書派遣事業では、市内小中学校に予定通り各３７日学校司書を派遣できた。児童生徒への読み聞かせ、ブックトーク[9]、アニマシオン[10]や授業で使用する図書の収集、調べ学習のサポート、ビブリオバトルに関する指導など、読書支援・学習支援を行った。

家族ふれあい読書推進事業では、うちどく[11]の啓発のため「うちどくの記録」の展示を実施した。また、読み聞かせ等家庭での読書習慣の大切さや興味をもってもらえるような図書館サービスを紹介し、小学校の就学時健診の

9　あるテーマに沿って何冊かの本を順に紹介し、子供たちに紹介した本や読書への興味を持たせる方法・技術

10　子供たちに楽しみながら「読む力」を体得させる活動

11　うちどく＝家での読書

際に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行った。

親子読書支援事業では、1歳8か月児健康診査対象者に図書館への案内状を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援するトートバックに入れた絵本のプレゼント、ブックリストの配付を行った。また、読書相談に応じるとともに、図書館利用カード作成やおはなし会等の案内を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

○　市内小中学校への司書派遣のほか、施設見学受入や保育所・小学校への読書ＰＲ、おはなし会の開催など多様な取組を実施し、子供の主体的な読書活動の促進を図った。さらに、令和7年度は、東大ＦＳ生によるキャリア★カフェや謎解きイベントのほか昔話とわらべうた等の新規事業も行った。

〔総合評価〕

◎　子供読書活動推進事業については、1事業の評価を実施し、総合評価は「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

○　学校の図書館見学・出前授業については、令和7年度も全ての小学校に対して図書館見学の受入もしくは出前授業を実施することができた。

教職員への図書提供冊数も前年度と比べると増加している。今後も、第4次岩出市子供読書活動推進計画に基づき、教育総務課、学校、子ども家庭課、保育所、子育て支援センター、図書館ボランティア等と連携協力し、子供読書活動の推進に努める。

○　貸出冊数の伸び悩みが続き、少子化の影響もあって読書活動の成果が見えにくい状況にある。また、中高生の利用が少ないことも課題である。今後はイベントと読書行動を結びつける仕組みづくりを進めるとともに、中高生の利用促進にも一層取り組む必要がある。

〔評価委員会の意見〕

○　親子読書支援事業や「うちどく」の推進をさらに強化し、家庭・学校・地域の連携により保護者への啓発を図られたい。

○　ビブリオバトルのような参加型イベントの開催や読書感想文等の多様な企画を充実させ、子どもの主体的な読書活動を後押しされたい。

6　点検評価結果【民俗資料館】

（1）　歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

歴史・文化などの地域情報の提供を行うため、施設整備や資料収集に取り組み展観事業等の充実を図り、歴史・伝統文化の振興に努める。

講演会や歴史講座、歴史学習会を開催することで、郷土の歴史や成り立ちについて学べる郷土学習の支援に努める。

〔令和７年度の主な取組状況〕

○　民俗資料館展観事業では、収集資料品展、根来寺関連宝物展、秋季企画展を開催した。

収集資料品展では民俗資料館資料収集事業で購入した根来漆器を常設展示するもので、９月と３月に展示品の入替を行い、根来塗について理解を深めた。

根来寺関連宝物展では「江戸時代の旅－根来寺への参詣を中心に－」をテーマに、江戸時代の旅にスポットを当てて、根来寺に参詣する人びとがどのような旅をして根来寺まで来たのかを中心にした内容を紹介し歴史と文化について理解を深めた。

秋季企画展では「岩出の教育のあゆみ－小学校を中心として-」をテーマに、明治時代前期に岩出・山崎・根来・上岩出小学校の４校が誕生し、大正時代・昭和時代戦前期と展開し、昭和時代戦後期に山崎小北学校が山崎小学校から分離して開校し、平成時代になると中央小学校が開校して６校となり現在に至っている。４校が誕生した明治時代前期、明治時代後期～大正時代、昭和時代戦前期、昭和時代戦後期に区分して明治時代から昭和時代までの岩出の小学校（現在の小学校に相当する尋常小学校・尋常科）のあゆみとともに、小学校での教育の様子を岩出市や紀の川市などに残された教科書などの教育関係資料や写真資料を通じて振り返り理解を深めた。

事　　業　　名	目標人数	実績人数
収集資料品展入館者数	４４,５００名	４５,９０２名
根来寺関連宝物展入館者数	８,５００名	８,２８８名
根来寺関連宝物展講演会参加者数	８０名	３０名
秋季企画展入館者数	１１,２００名	１０,５９５名
秋季企画展講演会参加者数	１００名	３０名

○　民俗資料館歴史学習・講座事業は、歴史講座、ふるさと歴史学習会、子ども歴史学習会を実施した。

まず、歴史講座は「羽柴秀吉と岩出」、「都人があこがれた紀伊の国」、「中世根来寺伽藍の展開過程」をテーマに３回開催し、郷土岩出の歴史について理解を深めた。

次にふるさと歴史学習会では、地域のすばらしさに気づき、ふるさとに愛着と誇りを持ってもらうため、今回はそうへいちゃんと行く根来寺謎解きツアーと題し大人から子どもまで、ともに根来寺の謎解きをすることにより、遊びをとおしてふるさとの歴史を学んでもらった。

子ども歴史学習会は、夏季に小学４～６年生を対象として「まが玉づくり（１回)」、「はにわづくり（１回)」、「ふうりんづくり（１回)」をテーマに計３回の夏の子ども歴史学習会を開催し、冬季に小学３～６年生を対象として「土器作り体験」をテーマに１回の冬の子ども歴史学習会を開催した。

事　業　名	開催回数	募集人数	参加者数
歴史講座	第１回	８０名	８０名
	第２回	８０名	３５名
	第３回	８０名	２６名
ふるさと歴史学習会	第１回	５０名	３９名
夏の子ども歴史学習会	第１回	４８名	４２名
	第２回	４８名	４４名
	第３回	４８名	４４名
冬の子ども歴史学習会	第１回	２４名	２２名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

展観事業については、根来寺の宗教的な分野も必要であるが、市民や観光客を魅了するような展示会の内容も検討しアンケート調査等を実施し、より参加者の意見を反映した企画展示や講演会を開催することで、利用者の満足度を高める工夫をされたいとの意見を頂き、根来寺関連宝物展では近世根来寺の歴史と文化について、秋季企画展では岩出の教育のあゆみをテーマに開催した。

歴史学習・講座事業については、ＳＮＳや広報紙、チラシ等で講座等の周知を強化し、若年層や子育て世代など各世代の参加促進を進め、講義形式だけでなく市民等の参加体験の学習会の充実も図られたいとの意見を頂き、歴史学習・

講座事業については、ＳＮＳや広報紙、チラシ等で講座等の周知を図った。

また、ふるさと歴史学習会では大人から子どもまで、ともに根来寺の謎解きをすることにより、遊びをとおしてふるさとの歴史を学んで頂きました。

歴史講座の実施にあたっては市民等の参加者の方からの要望が多いテーマにしたものを３回開催した。

〔総合評価〕

◎　歴史・伝統文化の振興については２事業の評価を実施し、２事業とも総合評価は、「やや下回る」、今後の方向性は「継続」とした。

○　根来寺関連宝物展、秋季企画展は期間中の入館者数が目標人数を下回り、根来寺関連宝物展講演会、秋季企画展講演会共に、参加者数が半数以下となった。展示テーマの設定に課題があったと考えられる。今後もより楽しんで頂ける内容の展観事業を行うとともに、ポスター等の掲載先の見直しも含めて広報活動の充実を図るべく積極的な対応を行う必要がある。

○　今後の取組みとして、展観事業や歴史講座は要望の多い根来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度の高いテーマのものを実施していく。

歴史講座第２回、３回の参加者が半分以下なので、多くの方に参加いただくためにアンケート結果などを参考にニーズに合ったテーマを設定して内容の充実を図る必要がある。

〔評価委員の意見〕

○　歴史講座等について、講義形式にとどまらず体験型にしたり、ワークショップや歴史スタンプラリーなどイベント化したりすることで、市民が楽しめる・自分ごと化できる仕組みを一考されたい。

○　夏の子ども歴史学習会等の成果を評価しつつ、集客につながるようＳＮＳや広報紙等の情報発信方法を改めて検証・改善されたい。

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	教育総務課
事　業　名	小学校施設改修事業		
事業の目的	小学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。		
事業概要	児童の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。		
目標 （評価指標）	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。

達成状況		
	○工事内訳	
	（現年度）　工　事　名	金　額
	上岩出小学校キュービクル改修工事	１０,８３１,１５０円
	根来小学校普通教室床張替工事	４,００４,０００円
	上岩出小学校普通教室床張替工事	４,１２５,０００円
	山崎小学校図書室等空調設備改修工事	９,８２１,９００円
	各小学校消防設備不良箇所改修工事　他７件	１６,３０５,８５０円
	現年度計	４５,０８７,９００円
	（繰越明許）　工　事　名	金　額
	山崎北小学校トイレ改修第１期工事	９６,８４９,５００円
	岩出小学校屋内運動場防水等改修工事	６０,８７７,３００円
	繰越明許計	１５７,７２６,８００円

予算執行				
	当初予算額	２１９,７３２,０００円	決算額	２０２,８１４,７００円
	補　正　等	８,４５１,０００円		
	予　算　額	２２８,１８３,０００円		

評　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画的にトイレ改修工事事業及びLED化改修事業を進めるとともに、今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や児童の安全確保に努める。 また、非構造部材の耐震化対策も順次進める必要がある。	
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	教育総務課
事　業　名	中学校施設改修事業		
事業の目的	中学校の施設老朽化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。		
事業概要	生徒の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。		
目標 （評価指標）	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため。

達成状況

○工事内訳（現年度）

工　事　名	金　額
岩出中学校防火設備（自火報システム）改修工事	４,９１５,９００円
各中学校消防設備不良個所改修工事	６,４０２,０００円
岩出第二中学校別室（旧パソコン室）空調改修工事	３,２６７,０００円
岩出中学校Ｒ７防火設備不良箇所改修工事　他1件	５２８,０００円
現年度計	１５,１１２,９００円

（繰越明許）

工　事　名	金　額
岩出第二中学校トイレ改修工事	１２１,３６３,０００円
岩出第二中学校防水改修工事	４８,６８４,９００円

予算執行	当初予算額	２３３,６４３,０００円	決算額	１８５,１６０,８００円
	補　正　等			
	予　算　額	２３３,６４３,０００円		

評　　価	b	a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下
事業課題等	岩出市立学校施設長寿命化計画に基づき、年次計画通りトイレ改修工事事業（中学校分）を完了とした。今後はLED化改修事業、老朽化対策及び維持管理の徹底を図り、教育環境の整備や生徒の安全確保に努める。 また、非構造部材の耐震化対策も順次進める必要がある。	
今後の方向性	継続	「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の整備	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	教育総務課
事　業　名	通学路整備事業			
事業の目的	通学路の整備により、児童生徒の登下校時の安全を図る。			
事業概要	各学校より、危険個所の報告を受け、道路管理者、岩出警察署及び各関係機関と連携を図り、通学路の危険個所を改修し、児童生徒の安全を確保する。			
目標 （評価指標）	なし	理由	毎年調査し、通学路危険個所の改修をしているため。	
達成状況	○通学路点検実施　７／８　　全小中学校校区内 （合同点検　岩出警察署・振興局建設部・土木課） ○整備実績　　計　３,７６２,８８５円 岡田地区通学路整備工事　　１,０４５,０００円 岩出市内通学路整備工事（道路維持）　　４４７,０００円 岩出市内通学路整備工事（道路区画線）　　８５１,８８４円 岩出市内通学路整備工事（カーブミラー及びガードレール等）　　９９８,２３４円 岩出市内通学路整備工事（道路維持）　　４２０,７６７円			
予算執行	当初予算額	４,０００,０００円	決算額	３,７６２,８８５円
	補　正　等			
	予　算　額	４,０００,０００円		
評　　価	b	a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下		
事業課題等	通学路の合同点検・整備工事施工により、児童生徒の通学路の安全確保を図ることができた。 整備後の通学路の維持管理及び児童生徒の通学路の安全性の確保に向け、公だけで実施することには予算的にも限界があり、日常の維持管理や見守りなど保護者及び地域住民の参画を促す必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
教育環境の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">教材・教具整備事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">教材・教具を整備し学習に活用することで、児童生徒の学習意欲の向上、教職員の指導の効率化を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">各学校で希望する教材・教具を選定し、その内容を教育委員会が精査し、優先順位を付けたリストに基づき効果的な整備を行う。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">教材整備指針に基づき必要な教材・教具を整備・更新しているため。</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">
<table>
<tr><th></th><th>教材備品</th><th>理科備品</th><th>図書購入費</th></tr>
<tr><td>小学校</td><td>８９８,５１３円</td><td>３８４,１２０円</td><td>2,８５７,７２３円</td></tr>
<tr><td>中学校</td><td>５４１,４１８円</td><td>0円</td><td>1,８２９,７８４円</td></tr>
<tr><td>計</td><td>1,４３９,９３１円</td><td>３８４,１２０円</td><td>4,６８７,５０７円</td></tr>
</table>
図書蔵書数（3/31現在）
<table>
<tr><td>小学校</td><td>９５,４８２冊</td><td>標準冊数</td><td>７２,３６０冊</td></tr>
<tr><td>中学校</td><td>５１,４５０冊</td><td>標準冊数</td><td>３５,６８０冊</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>7,４９７,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">6,５１１,５５８円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>7,４９７,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">小中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童生徒の学習意欲向上及び教職員の指導効率化に寄与した。
今後も、学習指導要領の改訂に即した学習に不可欠な教材・教具の整備に向け、学校のニーズを適切に判断し整備を行っていくことが課題である。
また故障に対する対応について、予算に限りがある以上、修繕か買い換えかの適切な判断が必要である。
ＩＣＴ機器については、教育情報化推進事業において、必要な備品を計画的に購入していく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
教育環境の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">特別支援教育就学奨励費扶助事業（小中学校）</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、特別支援教育の振興を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対して扶助費を支給する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">特別支援学級入級児童生徒数は年度により差があり、目標設定は制度の性質上適当でないため。</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">認定者数　　（　）内は前年実績
岩出小学校　18名（23 名）　山崎小学校　25名（23 名）
山崎北小学校　39名（34 名）　根来小学校　20名（14 名）
上岩出小学校　16名（23 名）　中央小学校　18名（16 名）
市外小学校　0名（1 名）
小学校合計認定者数　136 名（ 136 名）
小学校合計支給額　５，５９２，５８０円（３，０００，３３０円）

認定者数
岩出中学校　28名（24 名）　岩出第二中学校　14名（17 名）
市外中学校　0名（0 名）
中学校合計認定者数　42 名（ 33 名）
中学校合計支給額　２，５８９，３３０円（１，７０７，９５０円）

扶助費支給額合計　８，１８１，９１０円（４，７０８，２８０円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１０，８６６，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">８，１８１，９１０円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１０，８６６，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">対象児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されており、本事業の果たす役割は大きい。この事業は国庫補助事業であり、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
教育環境の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">要保護・準要保護児童生徒扶助事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒に対し、就学の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童生徒学用品費、通学用品費に対する扶助費を、年３回（７月、１２月、３月）に支給する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">就学援助は経済情勢等の社会的要因で上下し、目標設定は制度の性質上適当でないため。</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">（　）内は前年度実績
認定者数　令和７年度入学前支給者数
小学校合計認定者数　288 名　（ 307 名）　34 名　（ 26 名）
内市外小学校　0名　（ 1 名）　0 名　（ 0 名）
小学校合計支給額　２０,３４１,８３０円　（１９,３５７,２１０円）
内入学前支給額　１,９４０,０４０円　（２,７５７,０６０円）

認定者数　令和７年度入学前支給者数
中学校合計認定者数　185 名　（ 205 名）　50 名　（ 46 名）
内市外中学校　4名　（ 4 名）　0 名　（ 0 名）
中学校合計支給額　１９,９４８,９６９円　（１９,７２６,５２８円）
内入学前支給額　３,１５０,０００円　（３,６５４,０００円）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>４７,３０４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">４０,２９０,７９９円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>４７,３０４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">要保護・準要保護児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されているため、本事業の果たす役割は大きい。しかしながら要保護の修学旅行費については、国の補助金（１／２）があるが、国の要綱に準じて事業を実施するため、要綱の内容を正しく把握し適正に実施することが重要である。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td>第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td>【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
教育環境の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td>令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="3">紀の国緑育推進事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="3">児童の自然と触れ合う機会を創り、環境学習の効果を高める。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">県が実施する紀の国森づくり税を財源とした補助金を活用し、学校教育の一環として森林を利用した体験学習を行う（紀の国緑育推進事業補助金交付要綱及び取扱要領）。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>小学校実施率</td><td>100%</td><td>第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="3">○　森林体験（間伐体験・森の恵み体験）
実施場所：日高川町の林地及び日高川ふれあいドーム
<table>
<tr><td></td><td>実施日</td><td>参加人数</td><td></td><td>実施日</td><td>参加人数</td></tr>
<tr><td>岩出小学校</td><td>10/31</td><td>65名</td><td>山崎小学校</td><td>10/9</td><td>115名</td></tr>
<tr><td>山崎北小学校</td><td>10/3</td><td>108名</td><td>根来小学校</td><td>10/17</td><td>78名</td></tr>
<tr><td>上岩出小学校</td><td>10/10</td><td>71名</td><td>中央小学校</td><td>10/24</td><td>73名</td></tr>
<tr><td>計</td><td></td><td>510名</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
○　森林学習（木工体験）
<table>
<tr><td></td><td>実施日</td><td></td><td></td><td>実施日</td><td></td></tr>
<tr><td>岩出小学校</td><td>1/14</td><td>～　2/13</td><td>山崎小学校</td><td>11/4</td><td>～　11/18</td></tr>
<tr><td>山崎北小学校</td><td>11/7</td><td></td><td>根来小学校</td><td>11/4</td><td>～　11/26</td></tr>
<tr><td>上岩出小学校</td><td>11/4</td><td>～　11/14</td><td>中央小学校</td><td>10/28</td><td>～　11/20</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>７，４８３，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">７，６４９，３５０円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>７，４８３，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="3">小学校5年生を対象とした森林での伐採体験および木材工作などの体験学習と事後学習を通して子供たちの自然愛護や環境保護に対する学びの定着と教育効果の向上を図っていく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="2">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
教育相談の充実</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">教育支援センター（通称：フレンド）事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">心理的要因等により学校生活になじめず登校できない児童生徒（不登校児童生徒）の学校生活への復帰や社会的自立を目指す。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">指導員を置き、毎週月曜日から金曜日（国民の祝日等は除く）に、登校できない児童生徒に対する教育相談、学校生活への復帰や自立を図るために指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">児童生徒の状況に応じて、適宜実施しているため。</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">【通級状況】（　）内は前年度実績
入室児童生徒数：小学生　　６名（６名）、中学生　２５名（２３名）
体験入室者：　　小学生　　６名（３名）、中学生　　１２名（３名）
入室者出席延べ日数：小学生　３８８日（４６７日）、中学生　１，２６０日（１２５８日）
体験入室者出席延べ日数：小学生９１日（４日）、中学生１３３日（３３日）
【相談状況】
来所相談：０件（０件）　　電話相談：１件（４件）
学校との連携：学校への訪問　１件（１７件）、学校からの訪問　１３５件（１６１件）
学校との連絡：学校への電話　９２件（１４６件）、学校からの電話　１８３件（１６７件）
家庭との連絡：家庭への電話　０件（０件）、家庭からの電話　０件（１５件）
【指導者等】
指導員　２名　　指導補助員　２名　　不登校支援員　２名
スクールカウンセラー　1名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１０，８７０，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">９，３５５，２０１円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１０，８７０，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">昨年度から、給食の提供を開始され、給食を目的に通室してくる児童生徒も現れ、不登校状態にある児童生徒が家から出るきっかけの一端を担うことができている状況が続いている。
入室者の中には、フレンドにもほとんど出席できない児童生徒がいるため、引き続き通室しやすい環境づくりや在籍校と連携する等取り組み、出席できるよう働きかけていく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
家庭・地域との連携</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">コミュニティスクール事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">学校の運営及び必要な支援に関し、対象学校の所在する地域の住民、対象学校に在籍する児童生徒の保護者等の理解を深め、住民参画の促進を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">岩出市内各学校に学校運営協議会を設置し、学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と保護者や地域住民が連携した取組を行い、地域とともにある学校づくりを行う。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">学校の教育目標に沿った学校運営協議会の取組に対し、研修の実施や調整役としての関わりを目標としているため。</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">・学校運営協議会委員を任命
岩出小学校１２名、山崎小学校１０名、山崎北小学校１４名
根来小学校１３名、上岩出小学校１４名、中央小学校１５名
岩出中学校１２名、岩出第二中学校１１名　　計１０１名（Ｒ６年度９８名）
※学校運営協議会は各校年間平均３．２回実施した。

・地域連携担当者の資質向上と「熟議」の実践
和歌山県のアドバイザー派遣事業を活用した研修会等を実施。「熟議」をテーマに複数校で具体的な熟議を実践し、学校や地域が抱える課題解決に向けた、より実効性の高い協議の場へと発展させた。

・各校の協議会へ、オブザーバーとして行政担当者を派遣。情報共有を図った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>８８０,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">５７６,３９１円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>８８０,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">一部の学校で始まった「熟議」の実践成果を市全体へ普及させ、全小中学校における協議の質を平準化していくことが課題である。
今後は、行政担当者による情報共有を継続するとともに、指導主事の助言のもと、生涯学習課所管の「学校支援地域ボランティア活動事業」とのさらなる連動を図る。熟議で導き出された地域の課題解決案を、具体的な住民参画（ボランティア活動）へと結びつける実効性のある体制づくりを推進していく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="3">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="3">【基本施策】
豊かな学びと学力向上</td><td colspan="2">【重点施策】
学力の向上</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="3">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="5">教育情報化推進事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="5">基本的な学習スタンスを大事にしつつ、ICT等の最先端技術を活用した授業改善を図り、新たな学びを創造し、子供たちの確かな学力と生きる力を育む。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">岩出市教育情報化推進本部を設置し、指導主事、校長等学校関係者、情報システム関係担当者等が、教育の情報化における課題や必要となる環境を検討する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>協働学習の際にＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合</td><td>90％以上</td><td colspan="3">第３次長計（前期）【令和7年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="5">GIGAスクール構想第２期、共同調達による端末の更新に伴い、新OS（Google環境）への移行期において、適切な時期にスタートアップ研修を集中実施したことで、教職員の基本操作スキルが底上げされ、新端末のスムーズな立ち上げと活用開始につながった。（延べ１２０名が参加）またロイロノート（授業支援ソフト）活用の普及・促進のために２４８名の教職員が各個人の目的に応じたオンライン研修を受講。個人のスキル向上に繋げることができた。それに加え上級コースを設定、８名が受講しロイロ認定ティーチャーに認定され、市内すべての学校に２人以上認定ティーチャーが配置されている状況となった。
教育情報化推進本部会議２回、教育情報化推進委員会２回実施し、令和５年３月に策定した「岩出市教育情報化推進計画第２期（R5～R9）」の着実な実施と１人１台端末更新準備に務めた。
「協働学習の際にICTを効果的に活用できる教員の割合」78.5%（82.1%）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２９８,５４５,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２８４,２０１,７８６円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△ ４,７２３,０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２９３,８２２,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="4">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="5">・協働学習の際にＩＣＴを効果的に活用できる教員の割合の伸び悩み
・端末の日常的な持ち帰りやタブレットドリルの促進
・端末を日常的に協働学習に活用するための教員の意識変革</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="4">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
豊かな学びと学力向上</td><td colspan="2">【重点施策】
学力の向上</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">小中学校学力向上実践研究事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">学力向上先進校（地域）における研修や勤務校での実践研究を行い、指導力向上に向けた専門性とリーダー性を備えた教員（中核教員）の養成と効果的な指導方法を活用した授業実践を普及させ、児童生徒の学力向上を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">全国学調、市学調（小３～中３）で市平均と全国平均の差を±０に向けた取組
（１）教職員の指導力・資質向上（先進校派遣）
（２）学力向上に係る研究発表会等に教員を派遣（研究発表会派遣）
（３）派遣教員の活用による学力向上の推進
（４）ＲＳＴ（リーディングスキルテスト）を活用した授業改善（教員）
※ＲＳＴとは、文章に書かれている意味を正確にとらえる力（基礎的な読む力・読解力）を測定・診断するテスト。別名：読解力テスト</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った児童生徒の割合</td><td>児童６５．０％
生徒５０．０％</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和7年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">〇学力調査の結果
全国学力・学習状況調査で全国平均を上回った児童生徒の割合
児童４４．５％　生徒３８．７％
〇取組状況
１．リーディングDXスクール事業
文科省リーディングＤＸスクール事業の先進校視察等７件を通じ教員を養成。その知見を還元した小中５回の公開学習会には延べ３７４名が参加し、端末を活用した効果的な授業実践を地域へ広く普及して児童生徒の学力向上を図った。
２．ＲＳＴ（リーディングスキルテスト）の活用
「どこでつまずいているのか」が明確にすることができ、受検者自身が「読む力」を意識し、高めていくことで、自ら学ぶ力を育む機会を創出することができた。
・ＲＳＴ受検状況　児童生徒　４６名　教員１名　計４７名
３．よむYOMUワークシートの活用
各校において年度初めに活用計画を作成し、主体的にワークシートを運用する体制へと転換を図った。この計画に基づく確実な実施とともに、成果のあった学校の具体的な取組を市内で共有し、読解力の基礎となる読む力の育成を組織的に推進した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２，７４３，５８０円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２，３６２，１５３円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２，７４３，５８０円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>d</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">全国平均を下回る学年の学力底上げと、さらなる授業改善・読解力向上が課題である。
授業改善： リーディングDXスクール事業の成果を活かし、「文部科学省：生成AIパイロット校事業」を継続実施。
読解力： 成果の出た「よむYOMU」を継続し、基礎的な読む力を徹底。
次の一手： 一定の成果を収めたRSTは終了し、新事業「ひらがなプロジェクト」へ進化。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 心身の健全育成	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	教育総務課
事　業　名	いわでアスリートクラブ事業			
事業の目的	陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成を図る。			
事業概要	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮緑地総合運動公園を使用して、岩出市内の小学生（３年生以上）を対象に、陸上競技活動を実施する。			
目標 （評価指標）	登録児童の 活動参加率	50%以上	第３次長計（前期）【令和7年度】	
達成状況	【実施状況】 ・実施期間：令和７年４月１９日～令和８年３月７日 ・実施回数：２６回（３１回） ・実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園 ・登録者数：２６３名（２３６名） ３年生　７０名　（６８名）　４年生　６９名　（５７名） ５年生　６９名　（６０名）　６年生　５５名　（５１名） ・のべ参加人数：２，４６８名　（３，１５４名） ・出席率：３７．９％　（４６．２％） ・指導者登録者数：２９名　（３２名）　（　）内は前年度実績 ・クラブとしての県大会への参加は中止			
予算執行	当初予算額	４７０,０００円	決算額	３５８,３１９円
	補　正　等			
	予　算　額	４７０,０００円		
評　　価	C	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	中央小学校での練習も大宮緑地での記録会も全学年で４月から実施した。 年間２６回実施した。活動参加率は、３７．９％と参加率は昨年より低下し５０％を下回った。 ジャベリックスローや縄跳びの回数を増やしたり、準備運動が毎回同じにならないようにしたり等、工夫をしたものの冬場の参加率の大きな改善とはならなかったため、引き続き指導者と工夫していく。 指導者の確保について、２９名登録者はいるが、季節により参加率に偏りがあったり、参加者に対して指導者が少ない課題があった。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 豊かな学びと学力向上		【重点施策】 学校給食の充実	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	教育総務課
事　業　名	学校給食運営事業			
事業の目的	学校給食衛生管理基準に基づき、共同調理場の施設の整備や食器等の充実を図るとともに、学校給食の運営における適正化に努める。			
事業概要	（１）年次計画による設備や食器等の整備 （２）岩出市学校給食運営委員会の開催（議題：学校給食運営の課題等）			
目標（評価指標）	現年徴収率	100%	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	○岩出市学校給食運営委員会の開催状況　２回（７／９・２／１２） ○徴収率　（　）内は前年度実績　・支払督促申立　０件[うち完納１件] ・現年度　県の補助金の活用に伴い、保護者からの徴収はなし ・滞納繰越分　68.81%（80.41%） ○工事　・排水溝修繕工事　ほか１件　２，１２９，６００円 ○備品　・食器洗浄機　ほか　２１，９０９，２５０円			
予算執行	当初予算額	３６７，６５７，０００円	決算額	３７１，６４４，８３２円
	補　正　等	５，５２９，０００円		
	予　算　額	３７３，１８６，０００円		
評　　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	（１）物価高に対応した安心・安全な学校給食と栄養バランス豊かな給食の提供、給食単価見直しの実施 （２）県公立学校給食費無償化事業補助金を活用した学校給食無償化への対応及び、補助金の継続的な実施要望 （３）経年劣化による備品の更新及び施設の老朽化に伴う修繕の計画的な実施 （４）無償化に伴う保護者意識の醸成に向けた学校給食運営委員会の活用			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 青少年を取り巻く環境整備	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	教育総務課
事　業　名	児童携帯用防犯ブザー補助事業			
事業の目的	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。			
事業概要	各校ＰＴＡが防犯ブザーを購入する費用に対して、その１／２を補助する（児童１人につき１回限りとし、限度額４００円）。			
目標 （評価指標）	小学１年生 所持率	80％以上	第３次長計（前期）【令和８年度】	

達成状況

【小学１年生所持率】

令和３年度	89.1%
令和４年度	85.7%
令和５年度	88.1%
令和６年度	82.1%
令和７年度	85.7%

【申請者数】 計159名（前年度185名）

岩小　12名　山小　39名　山北　37名

根小　19名　上小　29名　央小　23名

申請率　46.2%（前年度40.1%）

【回答率】　37.2%

1,029 人 ／ 2,763 人

【参考】

【全小学生所持率】　72.8%（前年度71.3%）　所持者数　1,029 人

【全中学生所持率】　9.3%（前年度8.4%）　所持者数　64 人

予算執行				
	当初予算額	８３,０００円	決算額	６２,０１０円
	補　正　等			
	予　算　額	８３,０００円		

評　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下

事業課題等

目標値としている「小学１年生所持率８０％」を継続し達成した。

児童の安全確保と同時に児童の保護者の経済的な負担軽減が図れる本事業の継続が必要であるが、子供に防犯グッズを持たせて安心するだけではなく、日頃から電池切れや故障していないかなど大人による継続的なメンテナンスが必要なことも周知していく。

今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進	【重点施策】 青少年の活動推進	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	教育総務課
事　業　名	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業		
事業の目的	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。		
事業概要	（１）防災訓練 各中学校を会場に３年生全員を対象として実施 （２）防災ジュニアリーダー育成事業 夏休みの２日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生の希望者を募り実施		
目標（評価指標）	なし	理由	防災訓練は学校教育の一環、ジュニア防災リーダー育成は受入体制によるため、目標設定は性質上適当でないため。
達成状況	【実施状況】 ・啓発事業 ５／３１（金）防災ジュニアリーダー育成講座のポスター作成を各校へ依頼 ・防災訓練（対象者）中学３年生 ７／１（火）　岩出第二中学校　　参加人数　２１６人 場所　体育館・格技場・教室等 ７／１０（木）　岩出中学校　　参加人数　２４７人 場所　体育館・音楽室等 ・防災ジュニアリーダー育成講座 ８／７（木）８／８（金）　※２日開催再開 参加　２７名（岩出中学校　５名　　岩出第二中学校　２２名） 場所　那賀消防組合		
予算執行	当初予算額	２６４,３７０円	決算額　１６３,７２０円
	補　正　等		
	予　算　額	２６４,３７０円	
評　　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下	
事業課題等	災害発生前の自助努力等に関する研修と津波防災の危機回避の意識を高めるため、視聴覚教材を用いた津波防災学習を実施。津波への危機回避に対する意識の向上を図った。 防災ジュニアリーダー育成事業では、避難所運営ゲームを導入し避難所運営を疑似体験させることができた。受講生のアンケート結果でも好評だったため、継続して実施していく。 災害発生が度重なり発生する中、防災ジュニアリーダーに求められる役割は大きく、防災に対する意識を高めていく必要があるため、内容を検討していく。		
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」	

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
青少年健全育成の推進</td><td colspan="2">【重点施策】
自立と成長の促進</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">和歌山を元気にする職場体験事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">職場体験事業を実施し、将来社会人として自立できる力を育む。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">各中学校において学年別進路適性診断システム（ＰＡＳカード）により、将来の進路希望や適性を判定するとともに、事業所の協力を得て、中学２年生を対象に３日間の職場体験を実施する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">参加生徒数や受け入れ事業数、参加率等は目標値として妥当ではないため。</td></tr>
<tr><td rowspan="7">達成状況</td><td colspan="4">○職場体験（職場体験のためのﾏﾅｰ講座を岩出第二中学校にて実施）</td></tr>
<tr><td>学校名
項目</td><td colspan="2">岩出中学校</td><td>岩出第二中学校</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td colspan="2">9/17（水）～9/19（金）</td><td>9/3（水）～9/5（金）</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td colspan="2">２０５人</td><td>２１１人</td></tr>
<tr><td>事業所数</td><td colspan="2">８１社</td><td>７０社</td></tr>
<tr><td>○PASｶｰﾄﾞ実施日</td><td colspan="2">5/9（金）</td><td>5/1（木）</td></tr>
<tr><td>○PASｶｰﾄﾞ受検数</td><td colspan="2">２０６人</td><td>２１１人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>６３２,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">４４３,３９６円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>６３２,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">教室の中だけで学ぶのではなく、職場で仕事や人との関わりを経験することで、学習や働くことの意義をよく理解できる機会として、幅広い分野の職場体験先を確保する必要がある。
都市化が進む岩出市においては一次産業（農作物・畜産物などを作る「農業」、木材を生産する「林業」、海や河川などで魚介類を獲る「漁業」）の職場体験先を確保することが課題である。
また、体験先の事業所の休業日と職場体験の日程が重なる場合もあり、体験先が限定される点が課題である。
また実施中に企業の業務の都合上、体験受け入れできない日の生徒の受け入れ先について検討する必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
歴史を守り文化をつなぐまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
国際化の推進</td><td colspan="2">【重点施策】
多文化共生の推進</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>教育総務課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">外国青年招致事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">小中学校の英語の授業において、外国青年の補助により英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">（１）外国青年を招致（任用期間は最長５年）
（２）英語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力向上、国際文化への興味と理解を深める。
（３）外国語授業助手（ALT=Assistant Language Teacher）として活用
岩出中学校、岩出第二中学校（週２）、各小学校（週１）</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>採用人数</td><td>３名</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">○現在の任用状況
ヒメネス・メンドーザ・エリック　令和７年７月から任用（小学校担当）
ホフメン・オリビア　令和７年８月任用（小学校担当）
ヒューライト・マドックス　令和５年８月任用（中学校担当）
○活動状況（稼働日数）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"><table><tr><td>勤務地
期別</td><td>岩出中学校</td><td>岩出第二中学校</td><td>各小学校</td></tr><tr><td>１学期</td><td>４０日</td><td>２７日</td><td>１週間ごとに各校へ勤務</td></tr><tr><td>２学期</td><td>３７日</td><td>４６日</td><td>１週間ごとに各校へ勤務</td></tr><tr><td>３学期</td><td>２３日</td><td>２８日</td><td>１週間ごとに各校へ勤務</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td colspan="2">１７,５２９,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１５,９５７,７３８円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td colspan="2">０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td colspan="2">１７,５２９,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">令和７年度では、中学校担当ＡＬＴ１名から退職の申し出があったため、令和８年度において新たなＡＬＴ１名を配置し外国語教育の充実及び推進を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
学校環境の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
家庭・地域との連携</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">学校支援地域ボランティア活動事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">学校・家庭・地域が一体となって子供の育ちや学びを支える取組を推進する。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">学校支援・学習支援・校内環境整備など学校支援ボランティアが学校と協力し活動</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>ボランティア登録者数</td><td>２４０名</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">・ボランティア登録者数
岩出小学校６３名　山崎小学校４３名
山崎北小学校５３名　根来小学校６７名
上岩出小学校５７名　中央小学校７９名
岩出中学校２３名　岩出第二中学校４７名
合計　延べ４３２名
保険加入者数２８５名

年間を通じて、地域の方々による学校支援ボランティアの活動により、授業補助等の支援を実施

【岩出小学校】
折り紙遊び、読み聞かせ、学校周辺草刈等
【山崎小学校】
図書の整理、読み聞かせ、家庭科(ミシン)等
【山崎北小学校】
図書の整理、読み聞かせ、家庭科(ミシン)等
【根来小学校】
下校指導、図書の整理、さつまいも植え等
【上岩出小学校】
下校時安全観察、農園整備、運動場等草刈り等

【中央小学校】
家庭科(ミシン)、町たんけん見守り、合同清掃活動等
【岩出中学校】
合同清掃活動、校内ペンキ塗、家庭科(ミシン)等
【岩出第二中学校】
合同清掃活動、校内ペンキ塗、花植え等

ＰＴ会議を４回開催
事業推進のために目標や方向性の検討、情報交換を行うとともに、各活動への支援と参加、学校運営協議会へのオブザーバー参加など教育総務課と連携して学校支援地域ボランティア活動の充実を図った。

「コミスク通信」の発行（５月・８月・１２月・３月）し、各学校に配付

９・３月　広報誌にボランティア募集の記事掲載

年間の各学校のボランティア活動実績一覧表を各学校へ配付</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２６７,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２６１,２７６円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２６７,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>a</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">各学校に沿ったボランティア活動の充実を図るため、ボランティア、学校と情報共有を図りながら、協力者への協力依頼と活動をサポートしていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
心豊かな人が育つまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
青少年健全育成の推進</td><td colspan="2">【重点施策】
青少年を取り巻く環境整備　青少年活動の推進</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">青少年健全育成事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">学校・家庭・地域及び行政が連携し、安全な環境づくりを目指し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">青少年の健全育成を図るため、様々な分野からの働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組む。（活力ある地域活動・家庭教育支援活動・意識啓発のための活動・関係機関との連携、情報収集・子供を守るための活動）</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">催しの参加対象・人数が変更する場合があり、目標の数値化が困難なため</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">【青少年育成市民会議】
７／１１　「青少年の被害・非行防止全国強調月間」講演会　参加人数129名
演題　「家庭・地域で子どもを守るために
～違法薬物使用・オーバードーズの予防と対応～」
講師　県福祉保健部福祉保健政策局薬務課指導班　主査　森本　康弘　氏
７／１６　夏のこどもを守る運動街頭啓発　　啓発物資600個配布、参加人数４０名
マツゲン岩出中黒店、マツゲン岩出中迫店
８／２０、２１　子供たちを犯罪等から守る活動として、市内各施設へ幟旗設置の依頼（３３か所）
９／６　第２０回岩出市青少年育成市民大会　参加人数４３９名
表彰状授与（新坂青少年育成会）、賞状授与（「絆ポスター」優秀賞８名）
少年の主張作文発表　中学生４名（うち１名欠席）
アトラクション　岩出第二中学校吹奏楽部演奏
地区育成会活動紹介パネル展示　「絆」ポスター展示　３５９点
１１／１　育成だより全戸配布（約２４，４００部）
１１／２９　スポレク&あそぼうさい開催　参加人数２７６名
防災クイズ、小学校区別対抗玉入れ、綱引きなど実施
１２／１５　冬の子どもを守る運動街頭啓発　　啓発物資６００個配布　参加人数３２名
マツゲン中迫店、マツゲン中黒店
１／２９、２／５　小学校区別(合同)懇談会（中学校区別に２回開催）　参加人数１１５名
課題提起　テーマ：「こどもたちから見たネットの世界と、声のかけ方」
講師：ＴＥＴＡＵ事業協同組合　代表理事　森脇　碌　氏
２／２８、３／１　公民館フェア・ふれあいまつりにて、幟旗設置
３／１９　育成通信発行
年間を通じて、関係団体と連携してあいさつ運動や街頭啓発等の各種活動に取り組んだ。
随時、理事会や各部会等を開催し、活動事業について打ち合わせを行った。

【地域活動連絡協議会】
５／２４　ドッジボール講習会（県ドッジボール協会による講習会）
参加児童５０名、ジュニアシニアリーダー１２名、役員１０名
６／２８　ドッジボール大会　出場６チーム
選手７４名、監督・指導者６名、役員１２名、ジュニアシニアリーダー２２名
７／２４、７／２５
子ども・リーダー交流会　和歌山市立青少年国際交流センター
参加人数１３名（室内オリンピック、キャンプファイヤー、モールドール作り等）
８／２３　和歌山県地域子ども集団親睦交流スポーツ大会（ドッジボール）
白浜町立総合体育館　１チーム出場、参加人数　１６名
１／２７　岩出市地域活動連絡協議会指導者研修会　みそづくり　参加人数２５名
随時、役員会やジュニア・シニアリーダー会を開催し、活動事業について打ち合わせを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>３，０１１，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２，８３３，５９８円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>３，０１１，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">青少年健全育成活動を継続して多くの市民に周知できるよう、関係団体や家庭・学校・地域及び行政が連携し安全な環境づくりに取り組み、より多くの市民の参加を目指す。
今後も、子供たちが活躍できる場やイベントを計画して実施できるよう努める。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 青少年健全育成の推進		【重点施策】 自立と成長の促進	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	はたちのつどい事業			
事業の目的	はたちという人生の節目を迎える方を祝い励ますとともに、社会人としての自覚と地域への愛着心を育む。			
事業概要	式典、イベント			
目標 （評価指標）	参加率	７２．５％	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	８/７　市ウェブサイトに実施内容掲載 ８/７　市ウェブサイトに市外在住者用参加申込みフォーム作成 １０/１　手話通訳者派遣依頼 １０/３　市ウェブサイト、ラインに協力者（感謝の言葉、記念品受取）募集を案内 １１/７　イベント出演者の選定、決定 １１/１８　職員協力依頼 １２/５　対象者案内状発送、警察官派遣依頼 １２/１１　来賓案内状発送 １２/２５　柄付き看板作成 １/１０　リハーサル（音響・司会・感謝の言葉・記念品の受取）、 バルーン搬入、バリケード設置 １/１１　生花設置 １/１２　当日午前９時～受付 午前１０時～　　第一部　式典 午前１０時４０分～第二部　記念イベント　新子景視氏（マジシャン） 対象者（男）３０７名（女）３２７名（計）６３４名 出席者（男）２０９名（女）２３１名（計）４４０名 ４４０／６３４＝６９．４％ １/２０　礼状送付			
予算執行	当初予算額	１，６４３，０００円	決算額	１，６３０，２７７円
	補　正　等	０円		
	予　算　額	１，６４３，０００円		
評　　価	C	a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下		
事業課題等	スムーズな運営ができる体制づくり【適正な職員配置（配置場所や配置時間）】 駐車場の運用方法、確保の検討			
今後の方向性	継続	「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
文化・芸術活動の推進</td><td colspan="2">【重点施策】
文化・芸術活動の推進</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">文化協会助成事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">文化振興・文化交流に資する団体への助成</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">岩出市文化協会への助成</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>団体数</td><td>３９団体</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">事業計画に沿った事業の推進を図り、会員相互の交流と各クラブの活動助成を実施することにより、市の文化活動の発展に寄与することができた。
（文化協会事業実施状況）
・総会の開催
・理事会（年２回）、常任理事会（年４回）の開催
・市内で作品展示やコンサートの実施（各クラブ）
・会員研修の実施
・補助金の交付
・文化祭の実施　芸能発表１４クラブ出演
・観光投句の審査　民俗資料館展示
・会報の発行（各クラブに原稿を依頼）
令和７年度　会員数　５７２名　クラブ数　３２クラブ（休会中４クラブ除く）
令和６年度　会員数　５７９名　クラブ数　３２クラブ（休会中４クラブ除く）
令和５年度　会員数　５９６名　クラブ数　３３クラブ（休会中５クラブ除く）
令和４年度　会員数　６４２名　クラブ数　３４クラブ（休会中４クラブ除く）
令和３年度　会員数　６８０名　クラブ数　３５クラブ（休会中４クラブ除く）
令和２年度　会員数　７４５名　クラブ数　３７クラブ（休会中２クラブ除く）
令和元年度　会員数　８２８名　クラブ数　３７クラブ（休会中２クラブ除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，１４０，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１，１４０，０００円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１，１４０，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">引き続き文化祭などで活動の成果発表の場を設け、より多くの市民に興味・関心をもってもらい、新規会員・クラブの獲得に努めたい。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 文化・芸術活動の推進		【重点施策】 文化・芸術活動の推進	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	文化祭事業			
事業の目的	文化活動成果発表の機会の場を提供し、文化活動の振興と普及を図り、文化への理解と市民のふれあいの場をつくる。			
事業概要	作品展示や芸能発表、各種イベントを行う文化祭を実行委員会形式で開催する。			
目標 （評価指標）	来場者数	１７，０００人	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	第１回実行委員会　７月３日（木）開催 第２回実行委員会　１２月３日（水）開催 【文化祭】 開催日　令和７年１１月１日（土）・２日（日） 開催場所　市民総合体育館　ほか 入場者数　１５，５１２人 テーマ　「未来へつなげ　文化きらめく　ふるさといわで」 作品展示　一般作品（４３４点）、みんなで描く岩出市の現在と未来作品（２０５点） 幼稚園・保育所等、小中学校等の作品、市民憲章、 障害福祉サービス事業所作品展示 芸能発表　１日目：文化協会芸能部会１４団体、学生等の団体５団体の発表 ２日目：保育所等９園の発表 １日目：６０７人　２日目：１，６１８人 ふれあいの広場　文化協会（４クラブ）、他７団体 その他　絵手紙体験、生花体験、発明クラブ体験、お茶席コーナー 旧和歌山県議会議事堂で囲碁大会・将棋大会の実施 令和６年度　入場者数　１１，９３４人 令和５年度　入場者数　１３，０７１人 令和４年度　入場者数　１１，３１５人 令和３年度　入場者数　９，７３０人 令和２年度　中止 令和元年度　入場者数　１７，１５３人			
予算執行	当初予算額	３，３１６，０００円	決算額	３，０８９，９１１円
	補　正　等	０円		
	予　算　額	３，３１６，０００円		
評　　価	C	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	各種催しでマンネリ化している部分があるため、作品募集の見直しや、新しい要素を加えた催しを実施し、会場の演出も工夫するなどして、来場者に満足してもらえるよう努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
文化・芸術活動の推進　生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
文化・芸術活動の推進　生涯学習の振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">公民館フェアー事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">文化教室、公民館利用サークルによる成果発表の場の提供と、友達づくりや市民のふれあいの機会をつくることを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">文化教室受講生や公民館で文化活動を行っている方の作品展示や芸能発表などを行う公民館フェアーを開催する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加者数</td><td>１，５００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">【公民館フェアー】
日時：令和８年２月２８日（土）・３月１日（日）
場所：岩出市総合保健福祉センター
入場者数：２，４４５名
○公民館コンサート（２月２８日）
出場団体：１６団体
○公民館ギャラリー（２月２８日、３月１日）
出展団体：２０団体、１７６名展示（２日間通じて）
○体験コーナー（２月２８日）
和菓子づくり体験、己書（筆ペンアート）体験</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２３４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１９４,７０８円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２３４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>a</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">公民館フェアーについては、新たに設立されたクラブ・サークルにも直接声掛けを行って、参加者の獲得に努める。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	放課後子ども教室推進事業			
事業の目的	安心・安全な子供の居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動を推進する。			
事業概要	学習活動、文化活動、地域住民との交流活動			
目標 （評価指標）	年間参加者数	２，０００人	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	年３回放課後子どもプラン運営委員会開催 社会教育委員会議議長、青少年育成市民会議委員長、保護司会会長、民生・児童委員協議会会長、更生保護女性会会長、小学校ＰＴＡ会長、小学校長代表、指導主事で構成。 市内６小学校で（８２教室、１３７日、参加児童延べ２，１２９人）放課後子ども教室を実施。 学校の時間割変更や講師都合により、実施日の変更はあったが、中止することなく実施することができた。 また、勉強や文化的な活動（読み聞かせ・工作・華道・絵手紙・浴衣着付など）、地域住民との交流活動（マジック・おもしろ科学）、伝統文化に触れる活動（根来の子守唄・塗工作）により、子供たちが地域の方々と心豊かで健やかに育まれる活動が推進できた。			
予算執行	当初予算額	３，２６２，０００円	決算額	２，２８９，４７３円
	補　正　等	０円		
	予　算　額	３，２６２，０００円		
評　　価	b	a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下		
事業課題等	・　講師・サポーター等教室協力者の調整・確保。 ・　空き教室、授業科目、開始時間及び、夏休み期間の予定による活動開始日及び日程時間を学校と調整。募集定員・教室時間数を講師と調整。			
今後の方向性	継続	「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯学習の振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">生涯学習を考えるつどい事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">文化祭の前夜祭として生涯学習を考えるつどいを開催</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加者数</td><td>３００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">７月７日　開催要項決定・出演候補者選定・交渉開始
８月１８日　チラシ・プログラムについて契約
９月１７日　出演者契約締結
９月２６日　市ウェブサイトにイベント掲載
９月２９日　各地区公民館、市民総合体育館、岩出図書館、民俗資料館、旧和歌山県議会議事堂、あいあいセンター、さぎのせ公園、道の駅にチラシ配布
１０月１日　１０月広報チラシ全戸配布
１０月２８日　市ＬＩＮＥ、新着情報に再度掲載
１０月３１日　「オータムコンサート」を開催　２８７名が参加</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，０８０，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">４７１，７０７円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△５５２，０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>５２８，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">交流の広がりが期待でき、文化を感じられる催しとなるよう出演者・演目について検討する。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯学習の振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">６０歳以上対象のふれあい学級、１８歳以上対象の成人講座、保育所（園）・幼稚園・こども園の保護者対象の家庭教育学級を開催し、相互の交流や積極的に地域社会に寄与するための学習活動を行う。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">ふれあい学級　年１０回/５学園、成人講座　年１０回、家庭教育学級　年１０回</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加者数</td><td>３，０００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">・ふれあい学級
５学園で年１０講座開催。５０回１，８５７名参加
３月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。
・成人講座
１１月に現地学習を実施。１０回８５０名参加
２月講座開催時に開催方法、講座内容、参加理由等のアンケート実施。
・家庭教育学級
６月と１０月に分けて市内保育所（園）・幼稚園・こども園で１回ずつ開催。
１０会場９２５名参加（うち１会場はインフルエンザ流行により中止）
１月に保育所等を対象とした開催日程、講座内容等のアンケート実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，２５９，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">６７３，６９５円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>２，０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１，２６１，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">参加者や保育所等へのアンケート結果を活用し、市民の学習ニーズに対応した講座メニュー、講演会講師などの選定、募集の仕方、開催方法について工夫するなど、より良い事業となるよう努めていく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td>第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td>【基本施策】
生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯学習の振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td>令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="3">公民館教室事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="3">市民のニーズにあった教室を開催し、知識や技術を身につけるだけでなく、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めること及び高度情報化社会に対応するため、市民のパソコン操作の基礎能力の習得を目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">書道教室、料理教室、陶芸教室、体操教室等を開催。パソコン基礎教室の開催（基礎操作から文書作成、インターネット検索、表作成等の応用編まで３６回コース）</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加者数</td><td>３００人</td><td>第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="3">
令和７年度　文化教室　実績
<table>
<tr><th>教室名</th><th>定員</th><th>受講者数</th><th>延参加人数</th><th>開催回数</th></tr>
<tr><td>初歩の書道</td><td>１５人</td><td>１３人</td><td>１７１人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>中級の書道</td><td>２０人</td><td>９人</td><td>１０１人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>毛筆・ペン字</td><td>２０人</td><td>１８人</td><td>１５４人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>己書（筆ペンアート）</td><td>２０人</td><td>２０人</td><td>２０９人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>ヤムナ＆ピラティス</td><td>２０人</td><td>２０人</td><td>１９４人</td><td>１７回</td></tr>
<tr><td>男の料理</td><td>１２人</td><td>１２人</td><td>１１５人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>健康料理</td><td>１２人</td><td>１２人</td><td>８６人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>季節の和菓子</td><td>２４人</td><td>２２人</td><td>２０７人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>初心者のための手話</td><td>３０人</td><td>２５人</td><td>３２３人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>フラワーアート</td><td>１５人</td><td>１４人</td><td>７３人</td><td>１０回</td></tr>
<tr><td>陶芸</td><td>１５人</td><td>１４人</td><td>１３２人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>健康体操</td><td>１５人</td><td>１２人</td><td>１８２人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>ガーデニング（入門）</td><td>２０人</td><td>１６人</td><td>１５８人</td><td>１２回</td></tr>
<tr><td>はじめてのえんぴつ画</td><td>２０人</td><td>１８人</td><td>２６９人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>朗読・読み聞かせ</td><td>１０人</td><td>１０人</td><td>１４８人</td><td>１６回</td></tr>
<tr><td>子どもクッキング</td><td>２０人</td><td>１６人</td><td>１５０人</td><td>１１回</td></tr>
<tr><td>少年少女コーラス</td><td>１５人</td><td>１０人</td><td>１５８人</td><td>２０回</td></tr>
<tr><td>らくらく体操</td><td>１２人</td><td>１２人</td><td>１５５人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>姿勢が良くなるストレッチ</td><td>１５人</td><td>１５人</td><td>２２５人</td><td>１９回</td></tr>
<tr><td>計</td><td>３３０人</td><td>２８８人</td><td>３,２１０人</td><td>２８５回</td></tr>
</table>
○文化教室
知識や技術を身につけるだけでなく、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めることを目的としている。教室修了者の一部の方は教室生同士でサークルを結成し、学習を継続されている。
※朗読・読み聞かせは令和７年度新規事業

令和７年度　パソコン教室　実績
<table>
<tr><th>教室名</th><th>定員</th><th>受講者数</th><th>延参加人数</th><th>開催回数</th></tr>
<tr><td>パソコンA</td><td>１０人</td><td>７人</td><td>２３４人</td><td>３６回</td></tr>
<tr><td>パソコンB</td><td>１０人</td><td>８人</td><td>２２１人</td><td>３６回</td></tr>
<tr><td>計</td><td>２０人</td><td>１５人</td><td>４５５人</td><td>７２回</td></tr>
</table>
○パソコン教室
パソコンの技術を基本操作から習得し、多くの方がパソコンの技術を取得されるとともに、交流も深められた。
※パソコン教室Ａ（午前の部）・パソコン教室Ｂ（午後の部）
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>３，３８１，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">３，２８８，０６８円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>３，３８１，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="3">己書（筆ペンアート）、季節の和菓子など人気の講座は一部定員を増やして引き続き実施。
受講状況やアンケート結果を考慮して、定員の増減や講座内容の検討を図る。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 生涯学習の振興	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	公民館講座事業			
事業の目的	障害の有無にかかわらず様々な活動に取り組むきっかけをつくることにより、市民の交流の場をつくるとともに生涯学習の推進を図ることを目的とする。			
事業概要	夏休みと冬休みの子供向けの講座、冬期の一般向け講座を開催する。			
目標 （評価指標）	参加者数	３４０人	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	【公民館講座】 ・夏のこども講座 サマークッキング　３回（7/30、7/31、8/4） 定員６０名（各回２０名）受講者数計４６名（応募者数計４７名） 和菓子づくり教室　３回（7/30、7/31、8/4） 定員７５名（各回２５名）受講者数計６２名（応募者数計６５名） ・冬のこども講座　２回（1/24、1/31） 親子１組で焼きドーナツづくり教室を実施 定員３６組（各回１８組）受講者数　計２８組５５名（応募者数　計３１組） ・冬の一般講座 はじめての編み物　１回（3/21、3/28）定員２０名 受講者数　２１名（応募者数　２１名） ・にじいろ講座（障害者対象講座） みんなで運動ワッハッハ！　１回（8/26） 定員１５名　受講者１６名　応募１４名 絵本でお話を楽しもう　１回（8/29）定員１５名　受講者１３名　応募１２名 リラックスヨガ講座　１回（9/4）定員１５名　受講者２２名　応募１４名 段ボールアート　１回（9/9）定員１０名　受講者５名　応募６名 まが玉づくり　１回（11/26）定員１０名　受講者７名　応募７名 リフレッシュ体操　１回（12/4）定員１５名　受講者１７名　応募１２名 にこにこ笑顔でレッツエクササイズ！ １回（12/8）定員１５名　受講者１５名　応募１０名 みんなで歌や音楽を楽しもう　１回（12/12）定員１５名 受講者１４名　応募１１名 ・講座受講者数　合計２９３名			
予算執行	当初予算額	２２２,０００円	決算額	１６９,３８６円
	補　正　等	５,０００円		
	予　算　額	２２７,０００円		
評　　価	C	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	にじいろ講座（障害者対象講座）については、より多くの学ぶ機会を提供できるよう県の各種事業も活用し、新しい講座を開講できるよう努める。 一般講座・子ども講座も講座内容の充実に努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯学習施設の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">地区公民館運営事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">生涯学習を推進するための拠点として機能と施設の整備の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">地区公民館の運営・管理及び施設の改修（修繕）</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>利用者数</td><td>６０，０００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">・管理人雇用　１１人
４月１日　辞令交付
シルバー人材センターとの派遣委託
・貸館利用件数　５，２４９件（令和６年度　４，９９５件）
利用人数　５９，１５０人（令和６年度　５４，７７８人）
・７月２５日　公共施設予約システムの運用開始

【工事】
山崎地区公民館・・・外壁等改修工事
岩出地区公民館・・・１階大会議ほか内装等改修工事
駐車場西側外灯等改修工事　など
【その他修繕】
上岩出地区公民館・・・調理室給湯器修繕
各地区公民館・・・消防用設備修繕
岩出地区公民館・・・２階和室壁修繕　など</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>７７，８８２，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">７４，４５３，０４４円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△ １，６５７，０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>７６，２２５，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">建築から４０～５０年経過している施設が大多数を占めるため、長寿命化計画に基づき、改修等を進めていく必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">市民運動会事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">幼児から高齢者までの全ての市民が一堂に会し、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、市民相互の親睦とスポーツを通しての健康・体力づくりを行う動機付けを図るとともに、市民の交流を深める。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">参加者が「スポーツの秋」の１日をスポーツで楽しめるよう、運動会種目及びアトラクションを実施する。総合スポーツ大会としては、各スポーツ協会が主導のもと大会を実施する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加人数</td><td>１０，０００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">
〇市民運動会
・参加者推移
（年度）　（参加人数）　（各年度採用新種目）
令和 ２ 年度　０名 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
令和 ３ 年度　６８２名 岩出市こどもスポーツフェスティバル
令和 ４ 年度　０名 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
令和 ５ 年度　６，６５０名 くす玉割って玉いれましょう、ペタンクやってぴったんこ
令和 ６ 年度　８，０４２名 くす玉割って玉いれましょう、いわでオリンピック2024
令和 ７ 年度　７，０４６名 くす玉割って玉いれましょう、和歌山・岩出万博2025
〇総合スポーツ大会
（年度）　（団体数）　（協議種目）
令和 ５ 年度　６団体 グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー
令和 ６ 年度　１０団体 グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ
令和 ７ 年度　１２団体 グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ソフトテニス、バレーボール、バドミントン、サッカー、テニス、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、ハンドボール、剣道
</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>５，１５１，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">４，９８８，２１５円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>５，１５１，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">実施内容についてマンネリ化が見られることから、関係各所からの意見聴取を行い、魅力ある運動会の実現に向けて取り組む。また、スポーツ推進委員会による演技種目やアトラクション、ニュースポーツコーナーなど、趣向を凝らした内容となるよう検討を進める。
総合スポーツ大会については、より多くの市民がスポーツに親しめる仕組みを構築し、実施協会の増加を目指す。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">市マラソン大会事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">市民及び参加者に、健康・体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く内外にアピールする。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">一般１５ｋｍ・５ｋｍ　小学生３ｋｍ　ファミリー２ｋｍ（コスプレ含む）に分け、早春の根来路を走る。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>エントリー人数</td><td>３，０００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">令和　３年度　エントリー　１，０６４名、参加　　０名
令和　４年度　エントリー　１，２３４名、参加　１，１０６名
令和　５年度　エントリー　１，２７４名　参加　１，１６３名、コスプレ１６組
令和　６年度　エントリー　１，５５２名　参加　１，４４８名、コスプレ１４組
令和　７年度　エントリー　１，４１８名　参加　１，３１７名、コスプレ１５組
当日来場者数　３，８５９名

エントリー者推移
R3　R4　R5　R6　R7
市内　４３３名　４９３名　５２４名　６６６名　６１５名
市外　６３１名　７４１名　７５０名　８８６名　８０３名
計　１，０６４名　１，２３４名　１，２７４名　１，５５２名　１，４１８名

実施内容については、市制施行20年を記念して朝原宣治氏をゲストランナーとして招待し、根来路の2kmコースを走っていただいた。また、小学生を対象としたウォーミングアップ教室を開催したほか、キッチンカーの出店や健康相談ブースの設置など様々な企画を実施し、イベントを大いに盛り上げた。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>５，３００，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">５，２９８，１１２円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>５，３００，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>d</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">今後は、マラソン大会を岩出市のさらなる代表的イベントとして強化・発展させていくことが必要である。
また、道の駅ねごろ歴史の丘との連携・タイアップを図ることで、市の観光振興にも一層貢献できるよう取り組んでいく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">スポーツ教室・レクリエーション事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">スポーツの楽しさや健康づくりを広め、市民の多様なニーズに応えながら、参加と交流の場を提供する。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">健康体力の増進及びふれあいの場を提供するため、各種スポーツ教室を開催</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>参加者数</td><td>２７０人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">ヨガ・エアロビクス・ヘルスアップ・ウォーキングの各教室は、気軽に参加できる取り組みとして市民の健康増進と交流の場に貢献した。また、親子体操教室は、親子のコミュニケーションを深めながら運動できる場となるとともに、３歳児を持つ保護者同士の交流の場となった。
親子体操教室（定員なし）
水曜日・木曜日コース：全２０回開催　７３名（親３５名、子３８名）

ヨガ教室（定員６０名）　全１０回開催　４６名参加
エアロビクス教室（定員６０名）　全１０回開催　６０名参加

ヘルスアップ教室（定員３０名）　全１０回開催　２２名参加
ウォーキング教室（定員２０名）　全１２回開催　２０名参加
計　２２１名

各種ニュースポーツ教室を実施することにより、ニュースポーツを広く周知し、スポーツに親しんでいただけた。

８月　ニュースポーツ（第１回）兼　いわで夏まつりイベント
種目：モルック　参加者数：８０人
１２月　ニュースポーツ（第２回）兼　食と観光のフェスタイベント
種目：モルック　参加者数：８０人　計　１６０名
合計　３８１名</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，６３３，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１，１０９，７９７円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１，６３３，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">親子体操教室については、例年、３歳児世帯宛てに案内文を直接送付し、参加を促してきたところであるが、更なる受講率を向上するよう周知に努める。
各教室については、気軽さという点で概ね好評をいただいている。今後、市民のニーズが多様化する中、種目の追加、見直しなどの検討が必要である。
また、ニュースポーツ教室ついては、市の広報紙やウェブサイト掲載等、ニュースポーツの魅力を広く周知し、教室や講習会への積極的な参加を促す。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">スポーツ協会助成事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">市民の健全なスポーツ及びレクリエーションの奨励に努め、社会人及び青少年の運動競技の振興とその育成強化を補助する。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">スポーツ協会への補助</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>会員人数</td><td>１，７００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">市スポーツ協会に所属する１８協会に対して補助を行うことで、各協会の運営について支援することができた。
令和　３年度　２２協会（５０団体）　１，２７２名　１，９６３，０００円（補助額）
令和　４年度　２１協会（５１団体）　１，２４５名　１，９６３，０００円（補助額）
令和　５年度　２０協会（４９団体）　１，２０８名　１，９６３，０００円（補助額）
令和　６年度　１９協会（４６団体）　１，１２１名　１，９６３，０００円（補助額）
令和　７年度　１８協会（４７団体）　１，１３０名　１，９６３，０００円（補助額）

事業実施の協力を得ている市行事
市民運動会（ニュースポーツコーナー・体力テスト・アトラクション）、市マラソン大会、クリーン缶トリー運動イン岩出

大会参加実績
第79回国民スポーツ大会グラウンドゴルフ競技会
第30回近畿地区グラウンドゴルフ交歓大会</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，９６３，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１，９６３，０００円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１，９６３，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>d</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">スポーツ離れに歯止めをかけるべく、新たな団体の協会への加入促進を図っている。積極的に協会加入を促しているところもあれば、一部の協会は高齢化し、新規協会員の確保に向けて積極性がないところもあるため、それらの団体に対するフォローが必要である。
各協会がチラシ等で新規協会員を募る場合、総合体育館の掲示板利用など、機会の提供に努める。
また、市民運動会においても、引き続き、ニュースポーツコーナーで競技の魅力を知ってもらい、新規協会員獲得に繋げていく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">スポーツ少年団助成事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健全な育成に資する。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">市スポーツ少年団各団への助成</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>加入割合</td><td>25%</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">○少年団数の変遷
<table>
<tr><th>年　度</th><th>団数</th><th>団員数</th><th>補　助　額</th></tr>
<tr><td>令和６年度</td><td>１７団</td><td>５９１名</td><td>２,２４４,０００円</td></tr>
<tr><td>令和７年度</td><td>１７団</td><td>５９５名 ①</td><td>２,２４４,０００円</td></tr>
</table>
令和７年７月末児童数　　２,７５８名 ②
スポ少加入割合　21.57%　（①÷②）
○大会参加実績（全国大会のみ掲載）
（全国）
全農杯２０２５年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）
第１９回全国中学生少林寺拳法大会
第３９回全国ホープス西日本ブロック卓球大会
第４１回若葉カップ全国小学生バドミントン大会
第２６回ダイハツ全国小学生ＡＢＣバドミントン大会
第２５回全日本少年少女空手道選手権大会
２０２５年少林寺拳法全国大会ｉｎかながわ
ＪＯＣジュニアオリンピックカップ第４４回全日本ジュニアバドミントン選手権大会
第３４回日整全国少年柔道大会
第３４回全国小学生バドミントン選手権大会
第２６回全日本中学生バドミントン選手権大会
○その他
団員確保に向けて、総合体育館掲示板に通年で募集チラシを掲示したほか、「一日体験会」を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２,２４４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２,２４４,０００円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２,２４４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">未加入スポーツの取組や各団体へ団員の増についての方策を探るとともに、スポーツ離れにならないよう、小学校などに団員募集チラシを配置していただくなど、団員数の増加を図る。また、市のウェブサイトを活用して加入促進にも努める。
「一日体験会」については、引き続き実施する。
児童生徒にいかにスポーツの魅力を発信できるか、また、生涯スポーツの裾野を拡大させられるかということが重要であり、団員数の多少に関わらず、継続検討しなければならい。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
生涯スポーツの振興</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">大会等選手派遣補助事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助する。団体・個人への旅費補助（特定団体）</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">全国・近畿・県大会への補助（スポーツ協会、スポーツ少年団）</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">全国大会等に出場する場合の補助であるため目標設定に適さないため</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">本年度は、全国大会１２件、近畿大会７件、県大会６件、計２５件の派遣補助を行い、スポーツの振興を図ることができた。
スポーツ協会　　１団体（全国１件、近畿１件、県０件）
スポーツ少年団　　１０団体（全国１１件、近畿６件、県６件）

令和　２年度　　６団体　　３４６，３９０円（補助額）
令和　３年度　　５団体　　６００，９５０円（補助額）
令和　４年度　１０団体　１，２９３，５５８円（補助額）
令和　５年度　１０団体　１，３２５，３０８円（補助額）
令和　６年度　　９団体　１，６８２，７２４円（補助額）
令和　７年度　１１団体　１，６４０，９９４円（補助額）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>２，０７６，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">２，１０１，３４４円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>２６，０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２，１０２，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">スポ少・スポ協の各団体の全国・近畿・県大会への出場回数が流動的であることや、大会の開催場所の変更による旅費金額の変動があるため、当初予算内での対応が難しい場合がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
生涯スポーツの推進</td><td colspan="2">【重点施策】
スポーツ環境の整備</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">スポーツ施設運営事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">市民に安全かつ快適に施設を利用してもらい、気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、健康づくりや交流を深めるための場を提供する。健康と体力の増進を図るとともに、催し物の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">市民に安全かつ快適に施設利用してもらうため、日々施設内点検を心がけるとともに、サービス向上に取り組む。卓球・バドミントン等・スポーツで体力づくり・余暇を楽しむ。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>施設使用者数</td><td>３６０，０００人</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">フリー開放（アリーナで遊ぼう）については、８回実施。
（５月、６月、８月、９月、１２月、１月、２月、３月）
ニュースポーツ教室については、２回実施。（８月、１２月）

（　施　設　利　用　者　数　）
（施設名）　（令和７年度）　（令和６年度）　（令和５年度）
総合体育館　６９，２６４人　６９，０５２人　６９，７３２人
市立体育館　４４，２７５人　４２，９３５人　４４，３９０人
スポーツ広場　６３，５１８人　４２，８９４人　４４，４９２人
根来テニスコート　１３，３２８人　１３，６７５人　１４，４２２人
若もの広場ナイター　１０，４１３人　５，９６１人　７，３８９人
根来テニスコートナイター　３，１８４人　３，３８４人　１，７１９人
大宮緑地総合運動公園　６６，２５３人　８，７０５人　５６，１８４人
市民プール　１０，１１９人　１１，２６６人　１０，５７６人
トレーニングジム　４０，１８３人　３８，９３９人　３１，６３４人
いきいき広場　６，８１３人　３，２０７人　－
計　３２７，３５０人　２４０，０１８人　２８０，５３８人</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>９１,８１７,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">８８,７２６,０１７円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△　９５６,０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>９０,８６１,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>c</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">施設の利用者数については、全体的に復調傾向にあるが、コロナ禍前の水準には達していない。
その中で、施設の安全面を強化し、市民が快適に利用できるよう整備を行い、利用者数の増加につなげたい。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の整備	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	スポーツ施設整備事業			
事業の目的	市民の方々に、安全かつ快適に利用してもらうために、体育施設の整備を充実させる。			
事業概要	施設の整備・点検・改修工事等を実施する。			
目標 （評価指標）	なし	理由	修繕や工事の類を事業としているため	
達成状況	**・工事実績** 根来若もの広場法面樹木伐採工事　８２５，０００円 大宮緑地総合運動公園法面草刈工事　２，２７７，０００円 岩出市立大宮緑地総合運動公園多目的競技場人工芝張替工事　１２３，９７０，０００円 新池（根来）伐竹工事　１，３７５，０００円 岩出市立大宮緑地総合運動公園多目的競技場人工芝再利用設置工事　１，９７５，６００円 トイレコンテナ付帯設置工事　１，５９０，６００円 大宮緑地総合運動公園内蓋取替工事　１，８８６，５００円 大宮緑地総合運動公園内水道管漏水工事　４９９，４００円 市民総合体育館消防用設備等修繕工事　３２３，４００円 市民総合体育館内線電話機増設移設工事　７９，２００円 根来若もの広場防球ネット等修繕工事　１，４９６，０００円			
予算執行	当初予算額	１４６，８６４，０００円	決算額	１３８，４９４，３２５円
	補　正　等	△ ８，３０３，０００円		
	予　算　額	１３８，５６１，０００円		
評　　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	市民ニーズの把握については、市政懇談会・インターネット意見箱・アンケートなどが考えられるが、新施設建設にあたっては、様々な状況を勘案し総合的に判断していかなければならない。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
人権が尊重されるまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
人権尊重の推進</td><td colspan="2">【重点施策】
人権尊重の意識醸成　人権教育の推進</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">人権教育啓発事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広め、また未来を担う子供たちが「心豊かで思いやりのある子供」に育つことを願い、人権意識を高める。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">人権講演会、保護者学級、小・中学生人権作文、人権ポスター</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>なし</td><td>理由</td><td colspan="2">人権に関連したテーマで講演会を市長公室・スポーツ健康係・図書館で持ち回り実施している事業であり、目標設定数値化が困難なため</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">・人権講演会（法務省人権啓発活動地方委託事業）
人権問題に対する正しい認識を広めるため、１１/１５児童文学作家指田　和氏を講師に迎え岩出図書館と共催して人権講演会を開催。 参加者８８名
・保護者学級
各小学校の実情に応じて保護者学級を開催。県補助金交付対象６小学校
・小・中学生人権作文集
小中学生の作文２４点及び和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入賞作品９点を掲載し４，７００冊発行。
・人権ポスターコンテスト応募作品
（公財）和歌山県人権啓発センター等が主催する「ふれあい人権フェスタ２０２５」において和歌山県人権啓発ポスターコンテスト入賞作品８点展示。
市文化祭において小中学生の作品２３１点展示。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１，６４８，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１，５３７，２２１円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>１，６４８，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">市民の人権意識の向上を図るため、社会情勢・実情を踏まえた案件を取り入れるなど様々なテーマで市民ニーズに即した講演会出演者の選考、開催方法の検討を要する。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち	
	【基本施策】 文化遺産の保護・活用		【重点施策】 文化遺産の調査研究と保護・活用　文化遺産の公開	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	生涯学習課
事　業　名	文化保存事業			
事業の目的	岩出市内に所在する文化財を適切に保存・管理し、次世代に継承していく。			
事業概要	指定文化財等の保存・管理・修理・保全に要する経費の一部を補助する。 文化財の史・資料の整理と保管を行う。			
目標 （評価指標）	年間事業計画の達成件数	５事業	実施計画【令和７年度】	
達成状況	岩出市内に所在する文化財の適切な管理を行い、文化財の保護・保全を図った。 ①文化財保護審議会の開催　４/１７、７/１７、１０/１６、１/２２ ②国史跡根来寺境内周辺保全管理委員会の開催　８/２７、２/２６ ③指定文化財等の管理・修理 ・重要文化財　増田家住宅管理経費への補助金　６５，０００円 ・県指定文化財　上岩出神社管理経費への補助金　３５，０００円 ・県指定文化財　荒田神社管理経費への補助金　２７，０００円 ・市指定文化財　根来寺しだれ桜管理経費への補助金　１５０，０００円 ・国登録有形文化財　福田家住宅　修理補助　３７９，０００円 ・県指定文化財　環境整備業務（船戸山古墳群支障木伐採他）　１７９，５９４円 ・国・県指定文化財　環境整備業務（指定文化財の草刈り）　２３９，４４４円 ・県指定天然記念物　下中島の大イチョウ樹木医診断　４０，０００円 ・根来寺遺跡　埋蔵文化財出土遺物復元等業務　５６７，３８０円 ・未指定文化財　東坂本石造物（石灯籠）修復工事　１９８，０００円 ④指定文化財環境整備 西国分廃寺・下中島の大イチョウ・船戸山古墳群（草刈り）　年３回実施 船戸山古墳群（支障木伐採等）　年１回実施 ⑤指定文化財等の調査・整理 吉田の祠と石造物、福元家文書、刀剣（藤平）、増田家住宅所蔵品の調査、樹木医診断（下中島の大イチョウ）ほか			
予算執行	当初予算額	５，３７３，０００円	決算額	３，８２２，１７５円
	補　正　等	０円		
	予　算　額	５，３７３，０００円		
評　　価	b	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	船戸山古墳群の園路の補修が必要。 船戸山古墳群の環境整備を図り、安全に古墳を見学いただける環境整備に努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
歴史を守り文化をつなぐまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
文化遺産の保護・活用</td><td colspan="2">【重点施策】
文化遺産の調査研究と保護・活用　文化遺産の公開</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">文化財活用事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">岩出市内に所在する文化遺産の保存と活用を図る。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">文化遺産保存・活用のための必要な措置を講じる。埋蔵文化財の公開・活用を行う。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>年間事業計画の達成件数</td><td>１２事業</td><td colspan="2">実施計画【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">①埋蔵文化財の公開・活用件数　４件
・ねごろ歴史資料館において根来寺遺跡出土遺物を展示
　常設展示　考古資料の展示入替（借用資料の返却・借用）
・ねごろ歴史資料館コーナー展示
「地下式建物から出土した遺物」期間：7/9～12/17
「～暮らしに使われていた出土品から～」期間：12/17～3/2
「根来寺遺跡から出土した中国陶磁～中国製染付を中心に～」期間：３/４～７/６
②文化遺産普及啓発件数　８件
・パネル展示会（岩出図書館と共催）
豊臣秀吉の紀州攻めから４４０年！「根来」の謎に迫る！－学問・都市・テクノロジー －」
期間：１０/２５～１１/２６　岩出図書館展示コーナー
・パネル展示会（民俗資料館と共催）
日本遺産「葛城修験」パネル展示　修験の聖地・根来寺－修行の道（峯入道）を歩く－
期間：２/１～２/２６
・ふるさと歴史学習会（民俗資料館と共催）
「そうへぃちゃんと行く！根来寺謎解きツアー」
場所：ねごろ歴史資料館、根来寺遺跡展示施設ほか、開催日：１２/１３、参加者：３９名
・日本遺産葛城修験公開講座（於　橋本市）
第3回紀の川流域4市町合同公開講座「地域をむすぶ葛城修験～修験道でつながる歴史と文化～」
講演：「役行者と葛城修験・大峰修験」　田中利典、開催日：２/２２、参加者：１５７名
・文化財の啓発　文化財保護協調週間伴う文化財普及・啓発
会場：岩出市文化祭会場、期間：１１/1、１１/２
・指定文化財大日寺石造宝塔説明板修繕　完成日：３/１９
・パネル展示会（民俗資料館と共催）　場所：岩出市民俗資料館　期間：２/1～２/２６
日本遺産「葛城修験」パネル展示　修験の聖地・根来寺－修行の道（峯入道）を歩く－
・西国分廃寺（西国分塔跡）パンフレット作成　５，０００部
③講師等派遣件数　６件
・教職員初任者研修　７/２２
・那賀地方小学校社会科研究会臨地研修会　８/７
・職場体験（岩中）　９/１７　２年
・ふるさと学習　山崎小６年「えぇトコ岩出発見！」１１/１０
・根来小６年「戦国の世の根来寺」１２/１８
・岩出ロータリークラブ４０周年記念式典講演会　１１/２４

○岩出市文化財保存活用地域計画
庁内連絡会議　5/１９、８/４、１１/６、協議会　5/２６、８/１９、１１/１８
文化庁協議　４/２８、１１/１２</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>７２４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">６７７,６９４円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>７２４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>a</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">市の文化財保護の将来像を見据えた計画の策定が必要。
文化遺産を活用したふるさと意識の醸成を図る。
文化財保存活用地域計画の策定を円滑に実施していく。
ふるさとに見られる文化遺産を掘り起こし、市民への周知を図る。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
歴史を守り文化をつなぐまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
文化遺産の保護・活用</td><td colspan="2">【重点施策】
文化遺産の調査研究と保護・活用　文化遺産の公開</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">埋蔵文化財発掘調査事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">開発行為により影響が及ぼされる埋蔵文化財に対して、保護資料を作成するため、必要に応じ発掘調査及び整理作業を行う。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対し、適切に発掘調査を実施し、埋蔵文化財の保護資料を作成する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>年間事業計画の達成件数</td><td>５事業</td><td colspan="2">実施計画【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">開発行為等により影響を受ける埋蔵文化財の適切な保護を図るため、必要に応じて発掘調査等を行い、保護資料を作成した。根来寺本坊新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業を円滑に行った。
埋蔵文化財包蔵地において土木工事が行われるときに必要に応じて確認調査、工事立会を行い、埋蔵文化財が確認された場合には、記録保存のための発掘調査を行い、保護資料を作成した。
① 埋蔵文化財発掘の届出･通知処理　48件
② 埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等の対応（事業者と適宜協議を実施した。）
　工事立会　11件、現状変更に伴う工事立会　1件
③ 文化財発掘調査の実施
　本発掘調査　1件、確認調査　11件
④ 埋蔵文化財調査年報の作成　1件
⑤ 根来寺本坊新築工事事業に伴う埋蔵文化財確認調査等の実施
　現状変更に伴う確認調査･工事立会　1件
　現状変更に伴う工事立会　1件</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>１０，４２２，０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">８，２２５，８０９円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△２，１０７，０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>８，３１５，０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を円滑に対応していくため、組織の体制づくりが必要。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
歴史を守り文化をつなぐまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
歴史・伝統文化の振興</td><td colspan="2">【重点施策】
伝統文化の継承　ふるさと意識の醸成</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">根来の子守唄等保存活用事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">古くから唄い継がれてきた「子守唄」の貴重な文化遺産を末永く後世に引き継ぎ、地域文化の発展に寄与することを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">市民や各種団体との協働による様々な事業を通して、文化資源の普及・啓発に努める。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>年間事業計画の達成件数</td><td>５事業</td><td colspan="2">実施計画【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">市民との協働による普及・啓発事業件数　５件
ふるさとに伝わる文化遺産（民話・伝承・子守唄など）を題材にした語りや音楽を通してふるさとの魅力を伝える。

① 岩出市文化資源・観光資源継承事業に対する補助金（根来の子守唄保存会）
２８０，０９２円
② 根来の子守唄継承者育成事業
子守唄に唄われている原風景を訪ねるvol.１～３　5/２４、8/2、１２/7
「私たちと一緒に岩出の文化を発信しませんか？」　7/7
③ 出前授業の実施（小学１年生対象／６校）
山崎北１１/6、根来１１/7、中央１１/１１、岩出１１/１３、上岩出
１１/１４、山崎１１/１７
④ 大阪・関西万博への参加支援　5/１８
⑤ 根来の子守唄保存会への指導・助言
必要に応じ月例会への参加し、指導・助言を行った。
岩出食と観光のフェスタ参加支援　7/１９
第65回国保連合会地域医療学会交流会に伴う根来の子守唄の披露出演支援
１０/3</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>４９８,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">３８６,６９２円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>０円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>４９８,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">大学と連携した出前授業の内容を充実させていく。
和歌山信愛大学との連携を図る事業を企画・検討していく。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	岩出図書館
事　業　名	図書館利用促進事業		
事業の目的	図書紹介や行事案内、サービス内容など様々な情報を発信したり、イベント事業、講演会を開催することにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。		
事業概要	映画会・各種体験教室の開催。図書館主催事業として、利用促進講座を開催。図書館サービスの向上		
目標 （評価指標）		図書館入館者数　図書館貸出冊数	
	令和７年度図書館評価目標値	１６７，０００名 ３５３，０００冊	

達成状況

【主な事業】

子供向け体験教室	９９名参加（　４回実施）
映画会	７６４名参加（３４回実施）
講座・講演会	２７３名参加（　６回実施）
その他イベント	８２５名参加（２４回実施）

【入館者数・貸出冊数】

	入館者数（名）		貸出冊数（冊）	
	令和７年度	令和６年度	令和７年度	令和６年度
岩出図書館	142,387	136,219	312,305	326,597
駅前ライブラリー	6,790	7,101	10,393	10,039
総合保健福祉センター図書室	6,223	9,969	9,412	10,262
中央公民館図書室	1,187	1,112	303	532
上岩出地区公民館図書室	821	771	857	840
計	157,408	155,172	333,270	348,270
目標達成率	94.3%	104.1%	94.4%	95.7%

予算執行	当初予算額	２１７，０００円	決算額	１４９，９１０円
	補　正　等			
	予　算　額	２１７，０００円		
評　　価	C	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	展示企画やシネマ・クラシックなどの取組により入館者数は増加し、来館促進の効果が一定程度確認できた。一方で、貸出冊数等の増加には十分繋がらず、来館後の利用行動への誘導が課題として明らかになった。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td>第３章　笑顔あふれるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
生涯学習できるまち</td></tr>
<tr><td>【基本施策】
生涯学習の充実</td><td colspan="2">【重点施策】
図書館事業の充実（図書館運営事業）</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td>令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>岩出図書館</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="3">図書館ボランティア活動支援事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="3">図書館ボランティアの協力を得て各種の講座や催しを行っており、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">ボランティアの募集・登録、養成講座の実施　高校生ボランティアの募集・登録及び活動支援(書架整理・映画会・おはなし会・美化活動・図書の補修等)</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td colspan="3">ボランティア登録人数　　実施計画【令和７年度】80名</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="3">【ボランティア登録者数】３月末現在　９１名　目標達成率１１３．８％
【養成講座】　２回実施　計２８名受講
【図書館ボランティア活動】
<table>
<tr><td>おはなし会</td><td>毎週日曜日・不定期</td><td>７０回</td><td>１，０５４名</td></tr>
<tr><td>映画会グループ（映画会）</td><td>7/21・10/18・1/10・3/22</td><td>４回</td><td>８４名</td></tr>
<tr><td>展示グループ</td><td colspan="3">壁面飾りの製作及び展示</td></tr>
<tr><td>創作グループ</td><td colspan="3">布絵本の製作</td></tr>
<tr><td>補修グループ</td><td colspan="3">本の補修、装備等（毎週金曜日）</td></tr>
<tr><td>PRグループ(映画会チラシ作成)</td><td colspan="3">ボランティア主催映画会のチラシ作成（４回）</td></tr>
<tr><td>ストーリーテリンググループ</td><td colspan="3">上岩出小学校でストーリーテリングの実施（毎週金曜日）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="3">【高校生ボランティア】　５校２９名受入
【大学生等ボランティア】　３校　５名受入</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>７４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">５７,０９３円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td></td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>７４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>b</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="3">ボランティアの高齢化により長年の活動者が減少する一方、学生を含む新規参加希望者は増加している。しかし学生は日程調整が難しく既存グループに参加しにくいため、活動内容が限定される課題がある。柔軟な受入体制の構築、個別スキルを活かすコーディネートの強化に努める。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和7年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（図書館運営事業）	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	岩出図書館
事　業　名	図書館図書購入事業		
事業の目的	地域密着型図書館として、愛され親しまれ、幼児から高齢者の利用が多い図書資料の収集から、図書館に行けばなんでも調査研究ができるように、各分野に亘って広く購入することで、図書資料の充実を図る。		
事業概要	図書館法第3条並びに岩出図書館基本計画に基づく、図書購入 令和12年度　図書・視聴覚資料　433，520冊 電子書籍　　2，356コンテンツ		

目標（評価指標）

岩出図書館蔵書冊数	433，520冊目標
図書館評価（令和7年度末）	目標値（全館・室）
図書・視聴覚資料	378，000冊
【再掲】郷土資料	4，900冊
CD	2，490点
DVD	3，180点
電子書籍	1，678コンテンツ

達成状況

【令和7年度実績】　（単位：冊/点）

	発注予定冊/点数	発注実績冊/点数
図　書	6,230	6,409
視聴覚資料	66	66
合計	6,296	6,475
電子書籍	230	230

【目標達成率】

蔵書冊数	100.3%
郷土資料	100.2%
CD	102.0%
DVD	100.0%
電子書籍	100.0%

予算執行

当初予算額	17,776,000円	決算額	17,397,225円
補　正　等			
予　算　額	17,776,000円		

評　価	b	a 期待以上　b 期待どおり　c やや下回る　d 期待以下
事業課題等	蔵書全体は概ね充実しているが、地域文化の継承に資する郷土資料や寄贈図書の登録がはかどらない。資料の公開までに時間を要している。今後は、郷土資料及び寄贈図書の登録を積極的に進め、資料の充実を図る。	
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第３章　笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 図書館事業の充実（子供読書活動推進事業）	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日	担当課	岩出図書館
事　業　名	子供読書活動推進事業（青少年読書推進事業）		
事業の目的	青少年健全育成の観点から、児童、青少年に図書館を活用し本の魅力を知ってもらうため、読書活動を推進する。		
事業概要	絵本の収集やおはなし会を開催。ヤングアダルトコーナーを設置し資料の充実を図る。また子供読書活動推進計画を策定し、子供読書活動の推進事業として、子供の読書活動を応援するとともに、読書活動への関心と理解を深めるよう取り組む。		
目標 （評価指標）	児童書蔵書冊数 令和７年度図書館評価目標値 １０８，０００冊		

達成状況

【活動実績】

中高生ビブリオバトル岩出市大会	バトラー中学生3名・高校生2名、オーディエンス29名　計34名
施設見学受入	２１件
職場体験受入	中学校２校４名
保育所訪問	４園
おはなし会（ボランティア活動含む）	７９回
小学校就学時健診でのうちどくＰＲ	６校４４８名
親子読書支援事業来館(室）者	２２５名
岩出図書館司書派遣事業	年間３７日、各校に司書派遣

【統計】

	児童書蔵書冊数(電子書籍含まない)	児童への貸出冊数(電子書籍含む)	(参考)全貸出冊数(電子書籍含む)
岩出図書館(分館･分室含む)	108,153	73,097	333,270
目標達成率	100.1%	74.6%	94.4%
（参考）令和元年度実績	88,015	112,598	421,874

予算執行	当初予算額	803,000円	決算額	622,355円
	補　正　等			
	予　算　額	803,000円		
評　　価	C	a　期待以上　b　期待どおり　c　やや下回る　d　期待以下		
事業課題等	子供の読書活動推進を目的に、謎解きイベントや昔話とわらべうたなど新規事業を実施したが、貸出冊数の伸び悩みが続いている。少子化の影響もあり、読書活動の成果が現われにくい状況である。今後は家庭・地域・学校と連携し、イベントと読書行動を結びつける仕組みづくりを進めることで、子供の読書活動の推進に努める。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

<table>
<tr><td rowspan="2">岩出市長期総合計画に位置づけられている項目</td><td colspan="2">第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり</td><td colspan="2">【目標施策】
歴史を守り文化をつなぐまち</td></tr>
<tr><td colspan="2">【基本施策】
歴史・伝統文化の振興</td><td colspan="2">【重点施策】
歴史・文化資源の活用</td></tr>
<tr><td>評価対象期間</td><td colspan="2">令和７年４月１日～令和８年３月３１日</td><td>担当課</td><td>民俗資料館</td></tr>
<tr><td>事　業　名</td><td colspan="4">民俗資料館展観事業</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="4">郷土の歴史に関する内容での展観事業を行うことにより、市民や次代を担う小・中学生に郷土の歴史の情報や学習の場を提供することを目的とする。</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">地域に即した内容で、興味を持っていただけるような展示を行う。　収集資料品展（根来漆器）・企画展・特別展を開催する。</td></tr>
<tr><td>目標
（評価指標）</td><td>秋季企画展入館者数</td><td>１１，２００名</td><td colspan="2">第３次長計（前期）【令和７年度】</td></tr>
<tr><td>達成状況</td><td colspan="4">○収集資料品展：「集まった根来漆器」
会　　期：令和７年４月１日～令和８年３月３１日
目標/実績　４４,５００名 / ４５,９０２名（前年度　４２,８６２名）
○根来寺関連宝物展：「江戸時代の旅－根来寺への参詣を中心に－」
会　　期：令和７年４月１日～令和７年５月１２日
目標/実績　８,５００名 /　８,２８８名
○秋季企画展：「岩出の教育のあゆみ－小学校を中心に－」
会　　期：令和７年１０月１５日～令和７年１２月８日
目標/実績　１１,２００名 / １０,５９５名
○関連事業の根来寺関連宝物展講演会：「江戸時代の旅と紀ノ川流域の街道」
実施日：令和７年４月１３日　　目標/実績　８０名 /　３０名
○関連事業の秋季企画展講演会：「岩出市域における近代教育のはじまりと150年の歩み」
実施日：令和７年１１月２９日　　目標/実績　１００名 /　３０名
○広報活動の取組
市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">予算執行</td><td>当初予算額</td><td>７５４,０００円</td><td rowspan="3">決算額</td><td rowspan="3">１５７,６８１円</td></tr>
<tr><td>補　正　等</td><td>△ ５４０,０００円</td></tr>
<tr><td>予　算　額</td><td>２１４,０００円</td></tr>
<tr><td>評　　価</td><td>C</td><td colspan="3">a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下</td></tr>
<tr><td>事業課題等</td><td colspan="4">入館者数が目標人数を下回り、根来寺関連宝物展講演会、秋季企画展講演会共に、参加者数が半数以下となった。展示テーマの設定に課題があったと考えられる。今後もより楽しんで頂ける内容の展観事業を行うとともに、ポスター等の掲載先の見直しも含めて広報活動の充実を図るべく積極的な対応を行う必要がある。</td></tr>
<tr><td>今後の方向性</td><td>継続</td><td colspan="3">「廃止」　　「見直し」　　「完了」　　「継続」</td></tr>
</table>

教育委員会の点検・評価シート（令和７年度事業）

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第５章　にぎわいと輝きのあるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化をつなぐまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 歴史・文化資源の活用	
評価対象期間	令和７年４月１日～令和８年３月３１日		担当課	民俗資料館
事　業　名	民俗資料館歴史学習・講座事業			
事業の目的	講演会や歴史講座とあわせて、職員等による歴史学習会を実施し、市民に様々な角度から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供する。			
事業概要	地域に即した内容で、各世代が興味を持って学ぶことができるようなテーマや講師を選定し、多くの市民の方に参加いただけるような講演会・講座・学習会を開催する。			
目標 （評価指標）	歴史講座の合計参加人数	１７０名	第３次長計（前期）【令和７年度】	
達成状況	○歴史講座　　参加人数計　１４１名 ・第１回　令和７年６月２２日　テーマ「羽柴秀吉と岩出」 目標人数/参加人数（申込人数）　５７名 /　８０名　（８９名） ・第２回　令和７年９月２７日　テーマ「都人があこがれた紀伊の国」 目標人数/参加人数（申込人数）　５７名 /　３５名　（３７名） ・第３回　令和７年１０月２５日　テーマ「中世根来寺伽藍の展開過程」 目標人数/参加人数（申込人数）　５６名 /　２６名　（２８名） ○ふるさと歴史学習会（生涯学習課と共催） 実施日：令和７年１２月１３日　　目標/実績　２０名　/　３９名 ○子ども歴史学習会 ・第１回　令和７年７月２０日　テーマ「まが玉づくり」 目標人数/参加人数（申込人数）　４７名 /　４２名　（５９名） ・第２回　令和７年７月２６日　テーマ「はにわづくり」 目標人数/参加人数（申込人数）　４７名 /　４４名　（５５名） ・第３回　令和７年８月２日　テーマ「ふうりんづくり」 目標人数/参加人数（申込人数）　４６名 /　４４名　（５０名） ・第４回　令和８年１月１０日　テーマ「土器作り体験」 目標人数/参加人数（申込人数）　２０名 /　２２名　（３２名） ○広報活動の取組 市公共施設や近隣市の資料館等の社会教育施設へのポスター掲示依頼、市広報・ウェブサイトへの掲載、テレビ和歌山のデータ放送や行政情報の放映などを行った。			
予算執行	当初予算額	２３９,０００円	決算額	１９８,５６４円
	補　正　等			
	予　算　額	２３９,０００円		
評　　価	C	a　期待以上　　b　期待どおり　　c　やや下回る　　d　期待以下		
事業課題等	歴史講座第２回、３回の参加者が半分以下なので、多くの方に参加いただくためにアンケート結果などを参考にニーズに合ったテーマを設定して内容の充実を図る必要がある。			
今後の方向性	継続	「廃止」　「見直し」　「完了」　「継続」		

岩出市教育委員会　様

令和８年度　教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について

私たち評価委員は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定により教育委員会から委嘱を受け、 令和８年７月１７日及び令和８年８月２４日の２回にわたり評価委員会を開催した。

令和７年度は、主要施策に「学力向上と子供から高齢者まで学び続ける学習環境の充実」を掲げ、教育委員会２課２館が取り組んだ４８事業の評価は、昨年度と比較してａ「期待以上」の評価が２事業から３事業へ、ｂ「期待どおり」の評価が４０事業から２８事業へ、ｃ「やや下回る」の評価は８事業から１４事業へ、ｄ「期待以下」が３事業となった。

令和７年度においては、学校施設の長寿命化計画に沿った各種事業を進めるとともに、ＩＣＴ環境を活用した教員の指導力向上、要保護・準要保護世帯への就学援助など、児童生徒の安全と確かな学びを保障する施策において着実な成果が見られた。一方で、生涯学習、文化振興、歴史学習等の分野においては、会員数や受講者数の減少、事業内容のマンネリ化が課題となり、評価が「やや下回る（c)」となった事業も見受けられる。社会情勢の変化や市民ニーズの多様化に対応し、事業内容の工夫や積極的な周知を行うことで、事業の質の向上とさらなる成果の向上に期待する。

教育総務課では、トイレ・防水改修工事などの施設老朽化に伴う補修工事の完了や就学援助費の適正な給付、防犯ブザー購入補助など、教育環境整備や児童生徒の安全確保を着実に進めた点を評価する。今後も老朽化対策等を順次計画的に進めるとともに、防犯ブザーの日常的な点検指導を周知されたい。また、教員のＩＣＴ指導力向上を確かな学力向上へつなげ、２０３０年度からのデジタル教科書導入を見据えた指導法の研究に取り組まれたい。

生涯学習課では、文化協会への助成、公民館講座、市民運動会等の事業を通じて市民活動を支援している。一方、会員数や受講者数の減少等が課題である。文化祭等を活用した新規会員の獲得、県事業の活用による魅力ある講座の開発、ニュースポーツの導入など市民ニーズに即した企画・工夫に努め、より多くの市民が親しめる環境づくりを進められたい。

岩出図書館では、館内環境の整備や子どもの読書習慣定着に向けた取組が着実に推進されている。今後も電子書籍の活用や学校図書館との連携強化を図り、幅広い世代が親しみやすく利用できる図書館サービスの充実に努められたい。

民俗資料館では、体験型講座が盛況である一方、歴史講座の参加者が減少した。根来寺等の歴史・文化資源を活用し、市民や観光客を魅了するテーマの設定や体験型プログラムの充実を図るとともに、アンケート調査結果を活用した満足度向上と多様な層の集客に努められたい。

以上が岩出市教育委員会所属の２課２館の令和７年度事業に対する当委員会の意見である。

結びとして、上記の意見は、本市の教育行政が直面する課題を克服し、持続的かつ効果的な教育を推進するための提言です。次年度以降の事業計画に反映され、本市の教育の更なる発展に繋がることを切に願います。

令和８年８月２４日

岩出市教育委員会評価委員会

委 員 長　鳥 羽　孝 幸
副委員長　奥 田　富代子
委　　員　鈴 木　晴 久

令和８年度　教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
心豊かな人が育つまち	学校環境の充実	☞　教育総務課 ○　老朽化が進む学校施設の長寿命化計画に基づき、全校舎の外壁改修や防水工事等を着実に進め、児童生徒の安全確保や避難所機能の強化に万全を期されたい。あわせて、関係機関と連携した通学路の危険箇所改修にも継続して取り組まれたい。 ○　教材の購入にあたっては単なる更新にとどめず、次期学習指導要領の改訂情報や教育ＤＸ・生成ＡＩの動向を十分に見極め、真に必要なものを精査して選定されたい。 ○　いじめや不登校の未然防止・早期対応を図るとともに、児童生徒が抱える課題の多様化に対応するため、スクールカウンセラー等の専門職や関係機関と連携した包括的な支援体制を構築されたい。 ○　不登校の増加傾向に対し、校内サポートルームやＩＣＴを活用した多様な学びの場の整備、及び指導における工夫の共有などについても念頭に置いた、今後の環境づくりにも取り組まれたい。 ○　学校運営協議会と学校、教育委員会が緊密に連携し、地域の多様な人材や資源を積極的に取り入れながら、「地域とともにある学校づくり」に取り組まれたい。 ○　協議会での議論や学校運営の状況が地域住民全体へ波及するよう、デジタルツール等を積極的に活用した広報を強化されたい。 ○　特定の層への負担偏重を防ぐため、多様な人材や次世代の参画を促し、学校運営協議会の持続可能性を高められたい。 ☞　生涯学習課 ○　地道な取り組みによりボランティア登録者数が大きく伸びた点は評価される。今後も安定的な学校支援ボランティアの確保に努めるとともに、利用環境の改善や交流機会の拡充を図り、引き続き活発な取り組みを推進されたい。
	豊かな学びと学力向上	☞　教育総務課 ○　デジタル教科書の２０３０年度からの順次導入を見据え、先行国の事例や実証データを十分に研究されたい。学年・教科・使用場面を見極め、デジタルと紙の双方の強みを活かして多様な学びを保障し、学習成果の向上へつなげられたい。 ○　教育ＤＸ・クラウド活用による授業力向上と平準化のため、教員間のＩＣＴ活用スキルの二極化を解消するため、クラウド上での指導案やデジタル教材の共有・共同化を推進し、学校全体及び教科チームでの組織的な授業力向上と個別最適な学びの充実に取り組まれたい。 ○　アスリートクラブ事業等の継続に向け、冬季や気候面への柔軟な対応策や「心身の状態の見える化」を図り、児童が年間を通じて安全かつ意欲的に参加できる「誰もが楽しく続けられる場作り」を講じられたい。 ○　参加登録数の増加に対し実際の活動参加率向上が課題となっているため、児童の興味・関心を引くプログラム構成や参加意欲を高める施策を検討・実施されたい。 ○　給食費無償化の推進に関連し、現在残されている保護者負担分の未納・滞納繰越額については、地道な督促活動と学校との連携により早期解消に向けて迅速かつ丁寧に対応されたい。 ○　児童生徒の心身の健全な発達を支えるため、「安全性・栄養価」「国産国消」「経費負担」のバランスに重きを置いた給食提供に努められたい。広報や試食会等を通じ、保護者や市民への周知・理解促進にも継続して取り組まれたい。
	青少年健全育成の推進	☞　教育総務課 ○　防犯ブザーの電池切れや故障等による不作動を防止するため、学校及び家庭での定期的な点検作業（テスト鳴らし）の実施を徹底されたい。 ○　防犯ブザーの携帯促進にとどまらず、自転車ヘルメットの着用徹底など、交通安全教育とあわせた総合的な安全指導を推進されたい。 ○　探究型・実践型の防災教育と地域参画を推進されたい。 ○　「知る・学ぶ」段階から「行動する」防災教育への移行を見据え、学校の状況や実態に応じつつ、地域との連携や防災活動への関わり方について模索されたい。 ○　職場体験の場を幅広く確保するため、民間企業や地域事業者への働きかけを強め、受入先のさらなる開拓・確保に取り組まれたい。 ☞　生涯学習課 ○　青少年健全育成事業については、地域や関係機関との連携を深めながら、継続的な実施と事業内容の充実を図られたい。 ○　「はたちのつどい」事業については、事前にアンケート調査を実施し、参加者の興味やニーズを反映した内容とすることで参加率の向上を目指されたい。

令和８年度　教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
生涯学習できるまち	文化・芸術活動の推進	☞ **生涯学習課** ○　文化祭事業においては、若年層や中高生の参加拡大をさらに推進し、世代を超えた交流や地域文化の継承促進につなげる取り組みをされたい。 ○　文化協会助成事業については、今後も所属クラブの助成を継続し、活動の活性化を図るとともに、新規会員の獲得に努められたい。
	生涯学習の充実	☞ **生涯学習課** ○　生涯学習を考えるつどい事業については、市民が生涯学習について考え、交流する場として開催され、文化や芸術の理解促進に寄与している。更なる参加者増加を目指し、演者の選定や広報活動の充実を図られたい。 ○　公民館教室事業については、アンケートを実施し、ニーズの把握に努め、障害者向け講座などに新しい種目を取り入れ内容の充実を図られたことは評価出来る。 ○　地区公民館運営事業については、施設の長寿命化と安全対策を継続し、福祉避難所となることも考慮のうえ改修等を進められたい。 ☞ **岩出図書館** ○　工夫を凝らした各種イベントの実施を評価するとともに、イベント終了後の来館者の流れが図書に向かうような動線や企画の工夫をされたい。 ○　電子書籍サービスやＷｅｂ利用者カード、オンラインイベント等のデジタル活用を一層充実させ、「非来館型利用者」の獲得と満足度向上を目指されたい。 ○　親子読書支援事業や「うちどく」の推進をさらに強化し、家庭・学校・地域の連携により保護者への啓発を図られたい。 ○　ビブリオバトルのような参加型イベントの開催や読書感想文等の多様な企画を充実させ、子どもの主体的な読書活動を後押しされたい。
	生涯スポーツの推進	☞ **生涯学習課** ○　市民運動会事業及び市マラソン大会事業については、目標値を下回る参加者数等の状況を踏まえ、事業内容の見直しや魅力向上を図るとともに、アンケート等による参加者の声を定期的に反映させられたい。また、ＳＮＳ等のデジタル媒体を積極的に活用した周知や呼びかけにより参加率の向上につなげられたい。 ○　スポーツ少年団助成事業、スポーツ協会助成事業、大会等選手派遣補助事業については、生涯スポーツの振興と市民の健康づくりにおいて重要な役割を担っていることから、今後も計画的な支援と柔軟な運営により、関係団体の育成・強化と一層の成果向上を目指されたい。 ○　スポーツ施設運営事業については、定期点検や必要な修繕により安全性・快適性の確保に努めている点は評価出来るが、引き続き施設の質向上に重点を置いた改修・更新を計画的に実施し、利用者満足度の向上と利用者数の増加につなげられたい。また、スポーツ施設整備事業についても、中長期的な視点に立った計画的な整備更新を進められたい。

令和８年度　教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見

事業区分		主な意見
目標施策	基本施策	
人権が尊重されるまち	人権尊重の推進	☞ **生涯学習課** ○　市民への情報発信を強化し、より多様な市民が主体的に参加出来る人権啓発を目指されたい。
歴史を守り文化をつなぐまち	文化遺産の保護・活用	☞ **生涯学習課** ○　火災・災害対策（自動火災報知設備の整備・点検等）の定期的な見直しや劣化対策を計画的に進められたい。また適切な保存管理のため、文化庁や県の補助・助言制度を積極的に活用されたい。 ○　文化財は「ふるさと岩出」への誇りの醸成や観光振興に直結する事業であるため、今後も持続的で魅力ある取組を展開されたい。
	歴史・伝統文化の振興	☞ **生涯学習課** ○　地域固有の文化資源である「根来の子守唄」を継承し、地域の誇りや賑わいにもつなげる事業展開を図られたい。 ☞ **民俗資料館** ○　歴史講座等について、講義形式にとどまらず体験型にしたり、ワークショップや歴史スタンプラリーなどイベント化したりすることで、市民が楽しめる・自分ごと化できる仕組みを一考されたい。 ○　夏の子ども歴史学習会等の成果を評価しつつ、集客につながるようＳＮＳや広報紙等の情報発信方法を改めて検証・改善されたい。
	国際化の推進	☞ **教育総務課** ○　民間委託によるＡＬＴ派遣については、ＪＥＴプログラム 等の他施策との比較、メリット・デメリット、費用対効果や指導の質等の観点から定期的に比較・再検討を行い、事業の見直しに取り組まれたい。 ○　ＡＬＴとの日常的な交流等を通じた事業内容の充実を図り、児童生徒の国際感覚の醸成や生きた語学力の向上につなげるとともに、日本語指導が必要な児童生徒への支援充実にも取り組まれたい。

参考資料

○岩出市教育委員会評価等実施要綱

平成２１年１月２３日

教委告示第１号

（目的）

第１条　この告示は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和３１年法律第１６２号）第２６条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価（以下「評価等」という。）の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

（基本方針）

第２条　教育委員会は、評価等に際し、合理的な手法を用いて、できる限り定量的に行うものとする。

２　評価等の結果は、長期総合計画に基づく実施計画及び予算に反映させるよう努めるものとする。

（評価等の実施）

第３条　各課長は、教育委員会の点検・評価シート（別記様式。以下「シート」）により、自ら所管する事務事業について毎年評価等を行い、教育長に提出するものとする。

２　教育委員会は、前項の規定により教育長に提出されたシートに検討を加え、自ら評価等を行うものとする。

（委員会）

第４条　教育委員会は、前条第２項の評価を行うに当たり、当該評価の客観性を確保するため、教育委員会評価委員会（以下「委員会」という。）を設けるものとする。

２　委員会は、次に掲げる事項について教育委員会に意見を述べるものとする。

（１）　教育委員会が実施する評価等

（２）　評価等の方法、公表及び報告書に関すること。

（３）　その他評価等に関する事項

（組織）

第５条　委員会は、委員３人で構成する。

２　委員は、教育に関し学識経験を有する者の中から教育委員会が委嘱する。

（委員長等）

第６条　委員会に委員長及び副委員長１人を置く。

２　委員長及び副委員長は、委員が互選する。

３　委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

４　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

（任期）

第７条　委員の任期は、２年とする。

２　委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（評価等の公表）

第８条　教育委員会は、評価等を行った場合は、その結果に関する報告書を作成するものとする。

２　教育委員会は、前項の報告書を議会に提出するとともに、市民にわかりやすい形で公表するものとする。

（市民意見の反映）

第９条　教育委員会は、前条の報告書に関して市民から意見があったときは、その意見を評価等に反映させるよう努めるものとする。

（制度の見直し）

第１０条　教育委員会は、評価等を行うに当たり、事務事業の成果を把握する手法その他評価等の方法について、その改善と発展が図られるよう随時見直しを行うものとする。

（雑則）

第１１条　この告示に定めるもののほか、評価に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この告示は、平成２１年４月１日から施行する。